Mini ユーザー ガイド

改訂第 1 版：2010 年 5 月

初版：2009 年 12 月

製品番号：584528-292

製品についての注意事項

このユーザー ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

『Mini ユーザー ガイド』の最新情報を入手するには、HP の Web サイト、http://www.hp.com/support/にアクセスしてください。

安全に関するご注意

⚠ **警告！** ユーザーが火傷をしたり、コンピューターが過熱状態になったりするおそれがありますので、ひざの上に直接コンピューターを置いて使用したり、コンピューターの通気孔をふさいだりしないでください。コンピューターは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。通気を妨げるおそれがありますので、隣にプリンターなどの表面の硬いものを設置したり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものを敷いたりしないでください。また、AC アダプターを肌に触れる位置に置いたり、枕や毛布、または衣類などの表面が柔らかいものの上に置いたりしないでください。お使いのコンピューターおよび AC アダプターは、International Standard for Safety of Information Technology Equipment（IEC 60950）で定められた、ユーザーが触れる表面の温度に関する規格に準拠しています。

目次

1　お使いになる前に

お使いのコンピューターのメインのオペレーティング システムは、Microsoft® Windows®です。また、お使いのコンピューターには、[HP QuickWeb]がインストールされている場合があります（一部のモデルのみ）。

- Microsoft Windows オペレーティング システムは、ディスプレイにデスクトップを表示し、コンピューターのハードウェア、周辺機器、およびソフトウェア プログラムを制御します。
- お使いのコンピューターに[HP QuickWeb]がインストールされている場合は、メインのオペレーティング システムを起動しなくても、[HP QuickWeb]を使用してすばやくインターネットを参照したり、デジタル写真を表示したり、音楽を聴いたり、電子メール、インスタント メッセージ、または[Skype]（一部のモデルのみ）で連絡を取り合ったりできます。[HP QuickWeb]は、IOS（Instant-On Software）とも呼ばれます。

注記：　[HP QuickWeb]を無効または再び有効にするには、「[HP QuickWeb]の設定変更」の章を参照してください。通知領域にある[ヘルプ]アイコンをクリックすると、[HP QuickWeb]のソフトウェア ヘルプにアクセスできます。

[HP QuickWeb]の使用（一部のモデルのみ）

[HP QuickWeb]を起動するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの電源を入れます。[HP QuickWeb]のホーム画面が表示されます。
2. [HP QuickWeb]のホーム画面上のアイコンをクリックすると、プログラムが起動します。

Microsoft Windows から[HP QuickWeb]を起動するには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]**→[シャットダウン]ボタンの横にある矢印→**[再起動]**の順にクリックします。コンピューターが再起動し、[HP QuickWeb]のホーム画面が表示されます。

注記： [HP QuickWeb]について詳しくは、[HP QuickWeb]のソフトウェア ヘルプを参照してください。

2　各部について

ハードウェアの確認

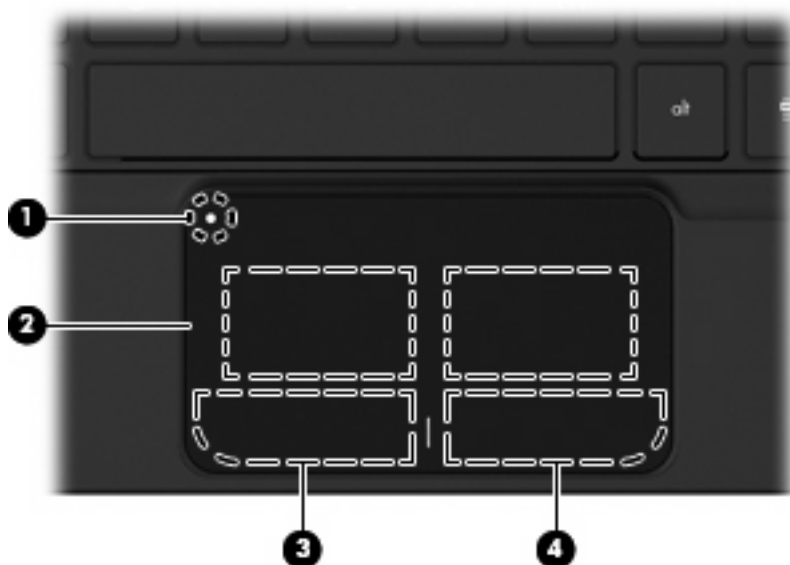
お使いのコンピューターに付属しているコンポーネントは、国や地域、およびモデルによって異なる場合があります。この章の図には、ほとんどのモデルに共通の機能が示されています。

コンピューターに取り付けられているハードウェアの一覧を参照するには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]**の順に選択します。次に、**[システム]→[デバイス マネージャー]**の順にクリックします。

[デバイス マネージャー]を使用して、ハードウェアの追加またはコンピューター設定の変更もできます。

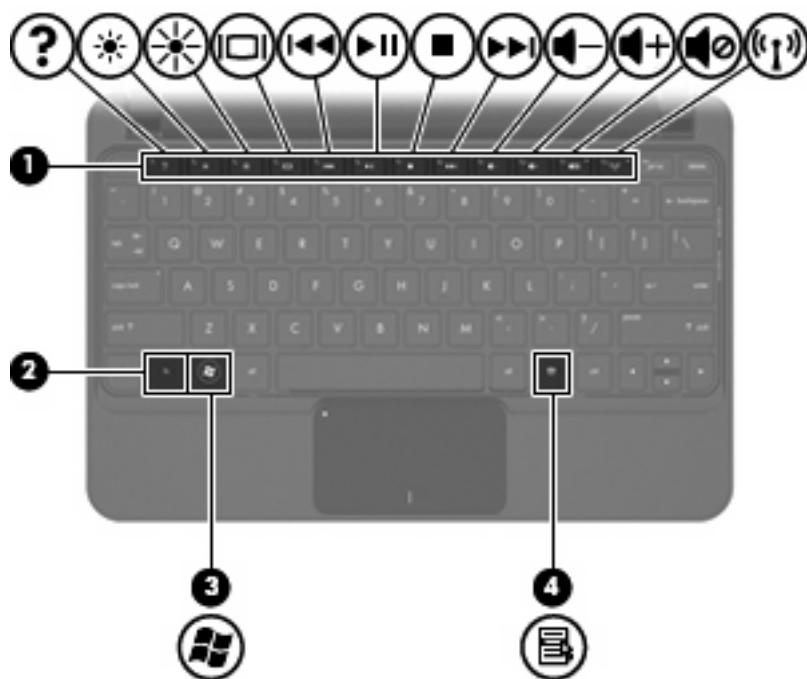
表面の各部

タッチパッド

名称			説明
(1)	●	タッチパッド オン/オフ ボタン	タッチパッドをオンまたはオフにします。タッチパッドをオンまたはオフにするには、ボタンをすばやくダブルタップします

名称		説明
(2)	タッチパッド*	ポインターを移動して、画面上の項目を選択したり、アクティブにしたりします
(3)	左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左ボタンと同様に機能します
(4)	右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右ボタンと同様に機能します
*この表では初期設定の状態について説明しています。ポインティング デバイスの設定を表示したり変更したりするには、**[スタート]**→**[デバイスとプリンター]**の順に選択します。次に、お使いのデバイスを表すアイコンを右クリックして、**[マウス設定]**を選択します。		

ランプ

名称			説明
(1)	●	タッチパッド ランプ	• 点灯：タッチパッドが無効になっています • 消灯：タッチパッドが有効になっています
(2)		Caps Lock ランプ	点灯：Caps Lock がオンになっています
(3)		ミュート（消音）ランプ	点灯：スピーカーのサウンドがオフになっています
(4)		無線ランプ	• 白色：無線 LAN デバイスや Bluetooth®デバイスなどの内蔵無線デバイスの電源がオンになっています **注記：** 無線デバイスは、出荷時に有効に設定されています • 消灯：すべての無線デバイスがオフになっています

キー

名称			説明
(1)		操作キー	頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(2)		fn キー	ファンクション キーまたは esc キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使用するシステムの機能を実行します
(3)		Windows ロゴ キー	Windows の[スタート]メニューを表示します
(4)		Windows アプリケーション キー	ポインターを置いた項目のショートカット メニューを表示します

前面の各部

名称	説明
スピーカー（×2）	サウンドを出力します

右側面の各部

名称			説明
（1）		メディア スロット	以下のフォーマットの別売のメディア カードに対応しています ● メモリースティック（MS） ● メモリースティック PRO（MS-PRO） ● マルチメディアカード（MMC） ● SDHC（Secure Digital High Capacity）メモリーカード（標準サイズおよび大きいサイズ） ● xD ピクチャーカード（XD）
（2）	⏻	電源ランプ	● 白色に点灯：コンピューターの電源がオンになっています ● 白色で点滅：コンピューターがスリープ状態になっています ● 消灯：コンピューターの電源がオフになっているか、ハイバネーション状態になっています
（3）		電源スイッチ	● コンピューターの電源が切れているときにスライドさせると、電源が入ります ● コンピューターの電源が入っているときに短くスライドさせると、ハイバネーションが開始されます ● コンピューターがスリープ状態のときに短くスライドさせると、スリープが終了します ● コンピューターがハイバネーション状態のときに短くスライドさせると、ハイバネーションが終了します コンピューターが応答せず、Windows のシャットダウン手順を実行できないときは、電源スイッチをスライドさせて 5 秒程度そのままにすると、コンピューターの電源が切れます 電源設定について詳しく調べるには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**→**[電源オプション]**の順に選択します
（4）		通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します

名称			説明
			注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です
(5)		USB コネクタ（×2）	別売の USB デバイスを接続します
(6)		RJ-45（ネットワーク）コネクタおよびカバー	ネットワーク ケーブルを接続します
(7)		セキュリティ ロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルをコンピューターに接続します 注記： セキュリティ ロック ケーブルに抑止効果はありますが、コンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません

左側面の各部

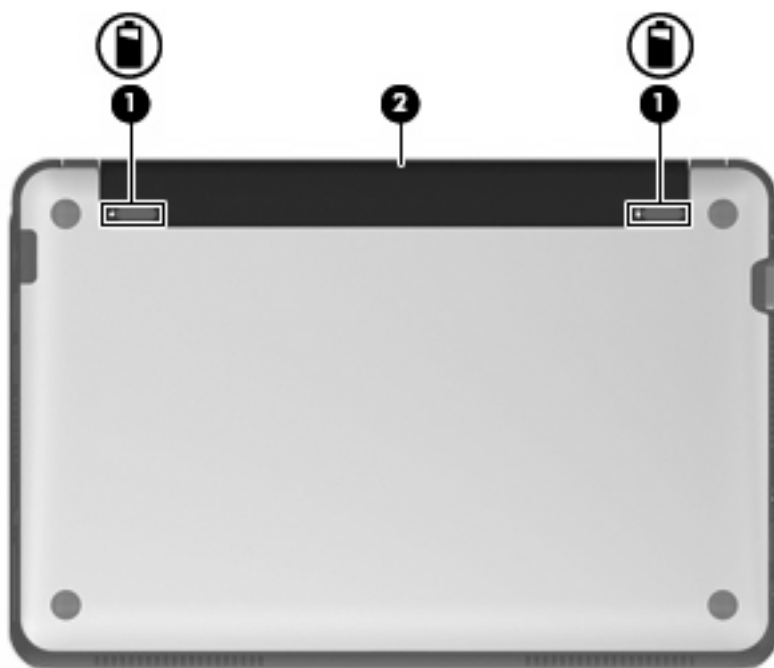
名称			説明
(1)		電源コネクタ	AC アダプターを接続します
(2)		バッテリ ランプ	• 消灯：お使いのコンピューターはバッテリ電源で動作しています • 白色で点滅：バッテリがロー バッテリ状態と完全なロー バッテリ状態のどちらかになっているか、またはバッテリ エラーが発生しています。完全なロー バッテリ状態になった場合は、バッテリ ランプがすばやく点滅し始めます • オレンジ色：バッテリが充電中です • 白色に点灯：コンピューターは外部電源に接続され、バッテリの充電は完了しています
(3)		外付けモニター コネクタ	モニターやプロジェクターなどの別売の外付けディスプレイをコンピューターに接続します
(4)		通気孔	コンピューター内部の温度が上がりすぎないように空気を通します 注記： 内部コンポーネントを冷却して過熱を防ぐため、コンピューターのファンは自動的に作動します。通常の操作を行っているときに内部ファンが回転したり停止したりしますが、これは正常な動作です

名称			説明
(5)		ドライブ ランプ	● 白色で点滅：ハードドライブにアクセスしています ● オレンジ色（一部のモデルのみ）：[HP ProtectSmart Hard Drive Protection]によってハードドライブが一時停止しています
(6)		USB コネクタ	別売の USB デバイスを接続します
(7)		オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ/オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します。別売のヘッドセット マイクもここに接続します 注記： コネクタにオーディオ コンポーネントを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります オーディオ コンポーネントのケーブルには、4 芯コネクタが装備されている必要があります

ディスプレイの各部

名称		説明
(1)	内蔵ディスプレイ スイッチ	コンピューターの電源が入っている状態でディスプレイを閉じると、スリープが開始します

名称			説明
			注記： ディスプレイ スイッチはコンピューターの外側からは見えません
（2）		Web カメラ ランプ	点灯：Web カメラを使用しています
（3）		Web カメラ	動画を録画したり、静止画像を撮影したりします 注記： 動画の取り込みおよび編集を行うには、プリインストールされている[Arcsoft WebCam Companion 3]ソフトウェアを使用できます
（4）		内蔵マイク	サウンドを録音します

裏面の各部

名称			説明
（1）		バッテリ リリース ラッチ（×2）	バッテリ ベイからバッテリを取り外したり、バッテリ ベイにバッテリを固定したりします
（2）		バッテリ ベイ	バッテリが装着されています

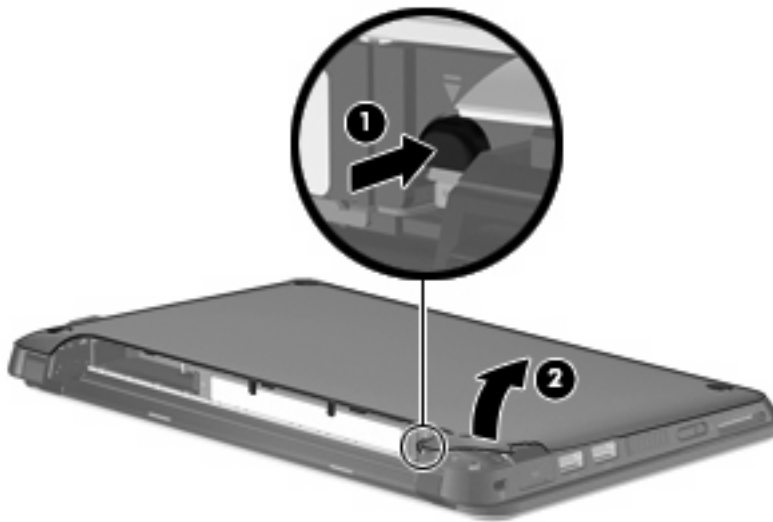
底面カバーの取り外し

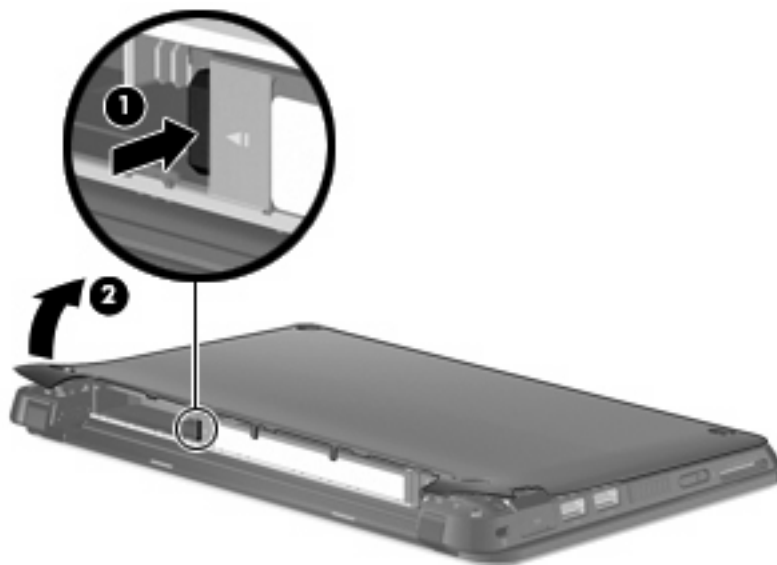
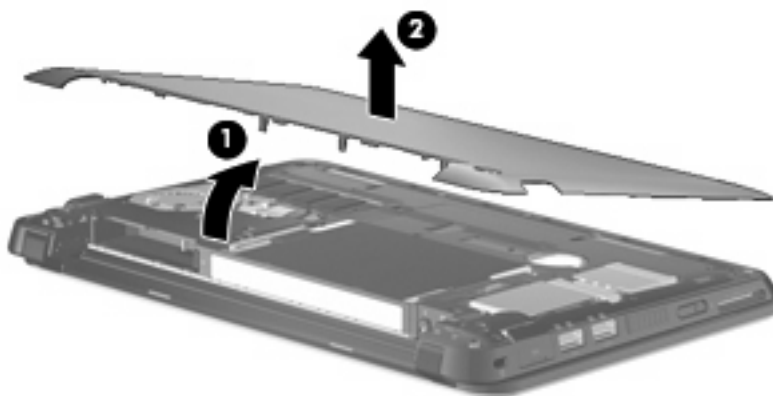
底面カバーを取り外すと、メモリ モジュール コンパートメント、SIM カード挿入スロット、規定ラベル、およびその他の重要なコンポーネントにアクセスできます。底面カバーを取り外すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源から切り離します。
2. バッテリを取り外します。

注記： 詳しくは、このガイドの「バッテリの着脱」を参照してください。

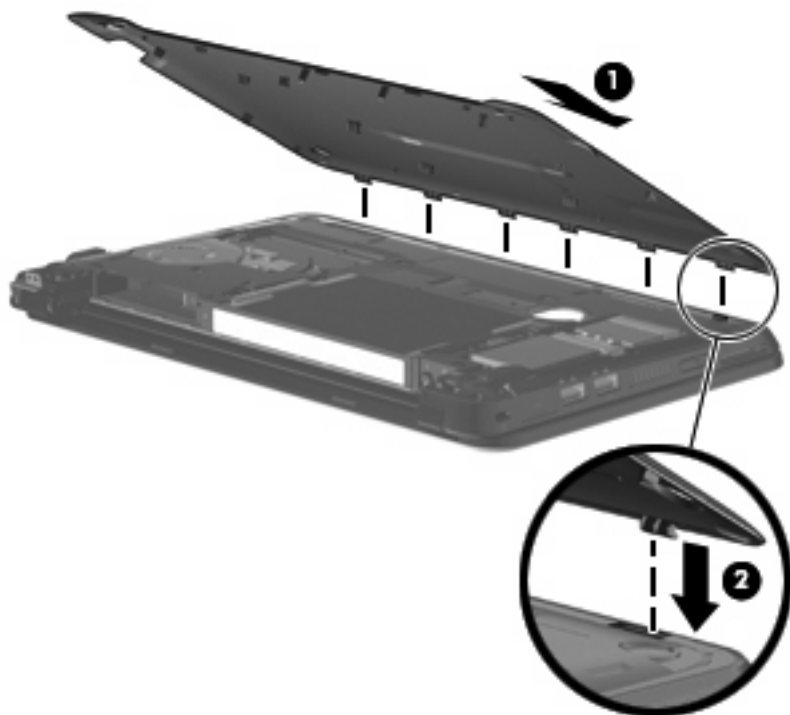
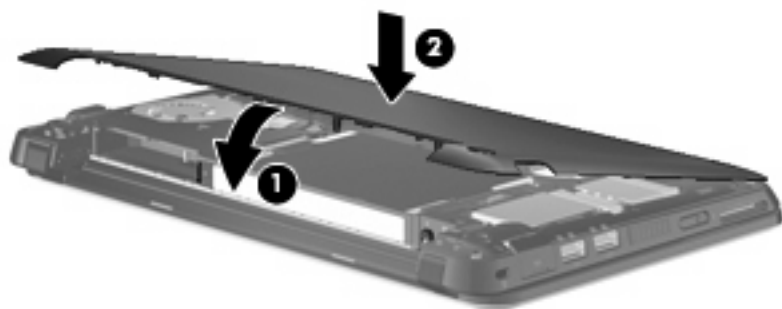
3. 右側のリリース ボタンを押します（1）。
4. 底面カバーの右側を本体から少し持ち上げて取り外します（2）。

注記： 底面カバーのタブが本体から外れるときにカバーが少したわみます。また、このときに弾けるような音がすることもありますが、これは正常です。

5. 左側のリリース ボタンを押します（**1**）。

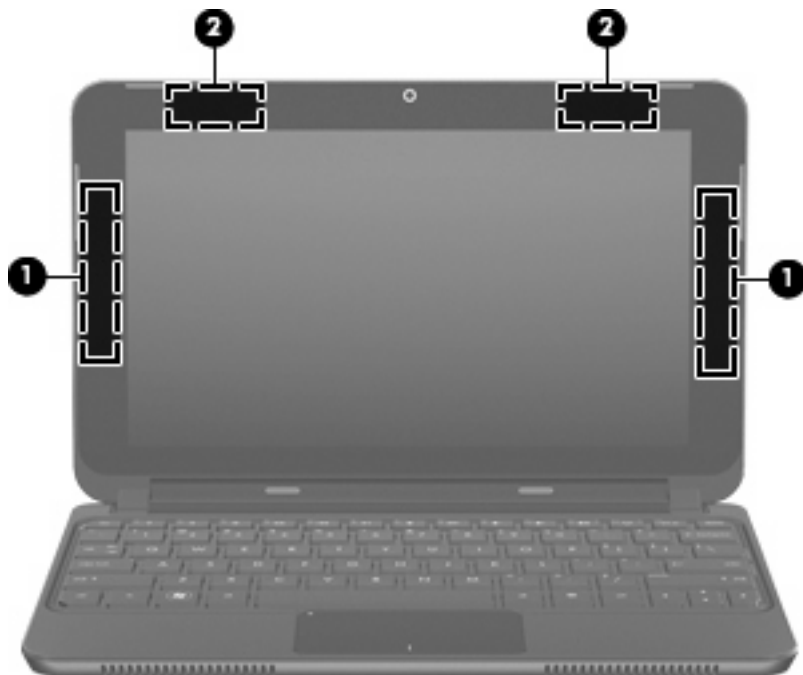
6. 底面カバーの左側を本体から少し持ち上げて取り外します（**2**）。

7. 底面カバーの手前側を引き上げてカバーを傾け（**1**）、底面カバーを持ち上げて本体から取り外します（**2**）。

底面カバーの取り付けなおし

メモリ モジュール コンパートメント、SIM カード挿入スロット、規定ラベル、およびその他の重要なコンポーネントにアクセスしたら、底面カバーを取り付けなおします。底面カバーを取り付けなおすには、以下の操作を行います。

1. 底面カバーの 6 つのタブがある方の辺を、コンピューター本体の前面部分に合わせて傾けます（**1**）。

2. 底面カバーにある 6 つのタブを本体のスロットに差し込んで、底面カバーをコンピューターに取り付けます（**2**）。

3. 底面カバーの手前側を下向きに回転させて（**1**）、カチッと音がするまでカバーをコンピューターの本体に押し込んで固定します（**2**）。

4. バッテリを取り付けなおします。

注記： 詳しくは、このガイドの「バッテリの着脱」を参照してください。

無線アンテナ

名称		説明
(1)	無線 WAN アンテナ(×2)(一部のモデルのみ)*	無線ワイドエリア ネットワーク(無線 WAN)で通信する無線信号を送受信します
(2)	無線 LAN アンテナ(×2)*	無線ローカル エリア ネットワーク(無線 LAN)で通信する無線信号を送受信します
	*アンテナはコンピューターの外側からは見えません。転送が最適に行われるようにするため、アンテナの周囲には障害物を置かないでください。	

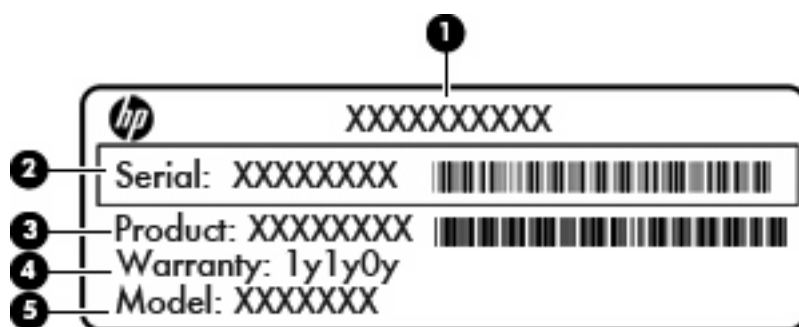
お住まいの地域の無線に関する規定情報については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。これらの規定情報には、[ヘルプとサポート]からアクセスできます。

その他のハードウェア コンポーネント

名称		説明
（1）	電源コード*	AC アダプターを電源コンセントに接続します
（2）	AC アダプター	AC 電源を DC 電源に変換します
（3）	バッテリ*	コンピューターが外部電源に接続されていないときに、コンピューターに電力を供給します
*バッテリおよび電源コードの外観は国や地域によって異なります。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードをお使いください。付属の電源コードは、他の製品では使用できません。		

ラベルの確認

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決したり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な情報が記載されています。

- シリアル番号ラベル：サポート窓口にお問い合わせいただくときに必要となる重要な情報が記載されています。シリアル番号ラベルは、バッテリ ベイ内に貼付されています。

名称	
（1）	製品名
（2）	シリアル番号
（3）	製品番号
（4）	保証期間
（5）	モデルの説明（一部のモデルのみ）

- Microsoft Certificate of Authenticity：Windows のプロダクト キー（Product Key、Product ID）が記載されています。プロダクト キーは、オペレーティング システムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。この証明書は、コンピューターの底面カバーの裏に貼付されています。コンピューターの規定ラベルにアクセスするには、このガイドの「底面カバーの取り外し」を参照してください。
- 規定ラベル：コンピューターの規定に関する以下の情報が記載されています。
  - オプションの無線デバイスに関する情報と、認定各国または各地域の一部の認定マーク。オプションのデバイスは、無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイスなどです。日本国外でモデムを使用するときに、この情報が必要になる場合があります。
  - HP モバイル ブロードバンド モジュールのシリアル番号（一部のモデルのみ）。

規定ラベルは、コンピューターの底面カバーの裏に貼付されています。コンピューターの規定ラベルにアクセスするには、このガイドの「底面カバーの取り外し」を参照してください。

3 電源の管理

電源オプションの設定

省電力設定の使用

お使いのコンピューターでは、2 つの省電力設定が出荷時に有効になっています。スリープおよびハイバネーションです。

スリープを開始すると、電源ランプが点滅し、画面表示が消えます。作業中のデータがメモリに保存されるため、スリープ状態を終了するときはハイバネーションを終了するときよりも早く作業に戻れます。コンピューターが長時間スリープ状態になった場合、またはスリープ状態のときにバッテリが完全なロー バッテリ状態になった場合は、ハイバネーションを開始します。

ハイバネーションを開始すると、データがハードドライブのハイバネーション ファイルに保存されて、コンピューターの電源が切れます。

△ **注意：** オーディオおよびビデオの劣化、再生機能の損失、または情報の損失を防ぐため、ディスクや外付けメディア カードの読み取りまたは書き込み中にスリープやハイバネーションを開始しないでください。

注記： コンピューターがスリープまたはハイバネーション状態の場合は、無線接続やコンピューターの機能を実行することが一切できなくなります。

スリープの開始および終了

バッテリ電源を使用しているときは操作しない状態が 15 分続いた場合、または外部電源を使用しているときは操作しない状態が 30 分続いた場合に、システムがスリープを開始するように出荷時に設定されています。

電源設定およびタイムアウトは、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]を使用して変更できます。

コンピューターの電源が入っているときにスリープを開始するには、以下の操作のどれかを行います。

- 電源スイッチを短くスライドさせます。
- ディスプレイを閉じます。
- **[スタート]**→[シャットダウン]ボタンの横にある矢印→**[スリープ]**の順にクリックします。

スリープ状態を終了するには、以下の操作のどれかを行います。

- 電源スイッチを短くスライドさせます。
- ディスプレイが閉じている場合は、ディスプレイを開いてタッチパッドを操作します。
- キーボードのキーを押します。

コンピューターがスリープを終了すると、電源ランプが点滅から点灯に変わり、作業を中断した時点の画面に戻ります。

注記： コンピューターがスリープを終了するときにパスワードの入力を要求するように設定した場合は、作業画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

ハイバネーションの開始および終了

電源設定およびタイムアウトは、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]を使用して変更できます。

ハイバネーションを開始するには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]**→[シャットダウン]ボタンの横にある矢印→**[休止状態]**の順にクリックします。

ハイバネーションを終了するには、以下の操作を行います。

▲ 電源スイッチを短くスライドさせます。

コンピューターがハイバネーションを終了すると、電源ランプが点灯し、作業を中断した時点の画面に戻ります。

注記： コンピューターがハイバネーションを終了するときにパスワードの入力を要求するように設定した場合は、作業画面に戻る前に Windows パスワードを入力する必要があります。

電源プランの使用

電源プランは、コンピューターの電源の使用方法を管理するためのシステム設定の集合です。電源プランによって、電力を節約し、コンピューターのパフォーマンスを最大限に向上させることができます。

以下の電源プランを利用できます。

- HP 推奨
- 高パフォーマンス
- 省電力

これらの電源プランの設定は[電源オプション]で変更できます。

現在の電源プランの表示

▲ タスクバーの右端の通知領域にある**[バッテリ メーター]**アイコンをクリックします。

または

[スタート]→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**→**[電源オプション]**の順に選択します。

異なる電源プランの選択

▲ 通知領域にある**[バッテリ メーター]**アイコンをクリックし、一覧から電源プランを選択します。

または

[スタート]→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**→**[電源オプション]**の順に選択して、一覧から電源プランを選択します。

電源プランのカスタマイズ

1. 通知領域にある**[バッテリ メーター]**アイコン→**[電源オプション]**の順にクリックします。

   または

   [スタート]→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**→**[電源オプション]**の順に選択します。

2. 電源プランを選択し、**[プラン設定の変更]**をクリックします。
3. 必要に応じて設定を変更します。
4. その他の設定を変更するには、**[詳細な電源設定の変更]**をクリックし、変更を行います。

スリープまたはハイバネーション終了時のパスワード保護の設定

スリープまたはハイバネーション状態が終了したときにパスワードの入力を求めるようにコンピューターを設定するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**→**[電源オプション]**の順に選択します。
2. 左側の枠内で、**[スリープ解除時のパスワード保護]**をクリックします。
3. **[現在利用可能ではない設定を変更します]**をクリックします。
4. **[パスワードを必要とする (推奨)]**をクリックします。
5. **[変更の保存]**をクリックします。

外部電源の使用

外部電源は、付属している AC アダプターを通じてコンピューターに供給されます。

⚠ **警告！** 安全に関する問題の発生を防ぐため、コンピューターを使用する場合は、コンピューターに付属している AC アダプター、HP が提供する交換用 AC アダプター、または HP から購入した対応する AC アダプターだけを使用してください。

以下の条件のどれかにあてはまる場合はコンピューターを外部電源に接続してください。

⚠ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリを充電しないでください。

- バッテリ充電するか、バッテリ ゲージを調整する場合
- システム ソフトウェアをインストールまたは変更する場合
- CD または DVD に情報を書き込む場合

コンピューターを外部電源に接続すると、以下のようになります。

- バッテリの充電が開始されます。
- コンピューターの電源が入ると、通知領域にある[バッテリ メーター]アイコンの表示が変わります。

外部電源の接続を外すと、以下のようになります。

- コンピューターの電源がバッテリに切り替わります。
- バッテリ電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。f3 操作キーを押して輝度を上げるか、AC アダプターを接続しなおします。

AC アダプターの接続

⚠ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。

コンピューターへの外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、電源コードをコンピューターからではなくコンセントから抜いてください。

安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。2 ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は重要な安全上の機能です。

外部電源にコンピューターを接続するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプターをコンピューターの電源コネクタに接続します（**1**）。
2. 電源コードを AC アダプターに差し込みます（**2**）。
3. 電源コードの反対側の端を電源コンセントに接続します（**3**）。

バッテリ電源の使用

充電済みのバッテリが装着され、外部電源に接続されていない場合、コンピューターはバッテリ電源で動作します。外部電源に接続されている場合、コンピューターは外部電源で動作します。

充電済みのバッテリを装着したコンピューターが AC アダプターから電力が供給される外部電源で動作している場合、AC アダプターを取り外すと、電源がバッテリ電源に切り替わります。

注記： 外部電源の接続を外すと、バッテリ電源を節約するために自動的に画面の輝度が下がります。輝度を上げるには、f3 操作キーを使用するか、AC アダプターを接続しなおします。

作業環境に応じて、バッテリをコンピューターに装着しておくことも、ケースに保管しておくことも可能です。コンピューターを外部電源に接続している間、常にバッテリを装着しておけば、バッテリは充電されるため、停電した場合でも作業データを守ることができます。ただし、バッテリをコンピューターに装着したままにしておくと、コンピューターを外部電源に接続していない場合は、コンピューターがオフのときでもバッテリは徐々に放電していきます。

⚠ 警告！ 安全に関する問題の発生を防ぐため、この製品を使用する場合は、コンピューターに付属しているバッテリ、HP が提供する交換用バッテリ、または HP から購入した対応するバッテリを使用してください。

バッテリは消耗品で、その寿命は、電源管理の設定、コンピューターで動作しているプログラム、画面の輝度、コンピューターに接続されている外付けデバイス、およびその他の要素によって異なります。

バッテリ充電残量の表示

▲ タスクバーの右端の通知領域にある**[バッテリ メーター]**アイコンの上にポインターを移動します。

[ヘルプとサポート]でのバッテリ情報の確認

[ヘルプとサポート]では、バッテリに関する以下のツールと情報が提供されます。

- バッテリの性能をテストするための[HP バッテリ チェック]ツール
- バッテリの寿命を延ばすための、バッテリ ゲージの調整、電源管理、および適切な取り扱いと保管に関する情報
- バッテリの種類、仕様、ライフ サイクル、および容量に関する情報

[バッテリ情報]にアクセスするには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[電源オプション]→[電源プランの詳細]**の順に選択します。

[HP バッテリ チェック]の使用

[ヘルプとサポート]では、コンピューターに取り付けられているバッテリの状態について情報を提供します。

[HP バッテリ チェック]を実行するには、以下の操作を行います。

1. AC アダプターをコンピューターに接続します。

   注記： [HP バッテリ チェック]を正常に動作させるため、コンピューターを外部電源に接続しておく必要があります。

2. **[スタート]→[ヘルプとサポート]→[トラブルシューティング]→[電源、サーマル、および機械]**の順に選択します。
3. **[電源]**タブをクリックし、**[HP バッテリ チェック]**をクリックします。

[HP バッテリ チェック]は、バッテリとそのセルを検査して、バッテリとそのセルが正常に機能しているかどうかを確認し、検査の結果を表示します。

バッテリの着脱

△ **注意：** コンピューターの電源としてバッテリのみを使用しているときにそのバッテリを取り外すと、情報が失われる可能性があります。バッテリを取り外す場合は、情報の損失を防ぐため、あらかじめハイバネーションを開始するか Windows の通常の手順でシャットダウンしておいてください。

バッテリを装着するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。
2. バッテリのタブをコンピューターのくぼみに合わせてから、バッテリをバッテリ ベイに挿入します。バッテリ リリース ラッチでバッテリが自動的に固定されます。

バッテリを取り外すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを裏返して安定した平らな場所に置きます。

2. バッテリ リリース ラッチをスライドさせて（**1**）バッテリの固定を解除してから、バッテリを取り外します（**2**）。

バッテリの充電

⚠ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリを充電しないでください。

AC アダプターを使用してコンピューターを外部電源に接続すると、バッテリの充電が開始されます。

バッテリは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリが新しいか 2 週間以上使用されていない場合、またはバッテリの温度が室温よりも高すぎたり低すぎたりする場合、充電に時間がかかることがあります。

バッテリの寿命を延ばし、バッテリ残量が正確に表示されるようにするには、以下の点に注意してください。

- 新しいバッテリを充電する場合は、コンピューターの電源を入れる前にバッテリを完全に充電してください。
- バッテリ ランプが白色に点灯するまでバッテリを充電してください。

  注記： コンピューターの電源が入っている状態でバッテリを充電すると、バッテリが完全に充電される前に通知領域にある[バッテリ メーター]アイコンに 100%と表示される場合があります。

- 通常の使用で完全充電時の 5%未満になるまでバッテリを放電してから充電してください。
- 1 か月以上使用していないバッテリは、単に充電を行うのではなく、バッテリ ゲージの調整を行います。

バッテリ ランプには、以下のように充電状態が表示されます。

- 消灯：お使いのコンピューターはバッテリ電源で動作しています。
- 白色で点滅：バッテリがロー バッテリ状態と完全なロー バッテリ状態のどちらかになっているか、またはバッテリ エラーが発生しています。完全なロー バッテリ状態になった場合は、バッテリ ランプがすばやく点滅し始めます。

- オレンジ色：バッテリが充電中です。
- 白色に点灯：コンピューターは外部電源に接続され、バッテリの充電は完了しています。

バッテリの放電時間の最長化

バッテリの放電時間は、バッテリ電源で動作しているときに使用する機能によって異なります。バッテリの容量は自然に低下するため、バッテリの最長放電時間は徐々に短くなります。

バッテリの放電時間を長く保つには、以下の点に注意してください。

- ディスプレイの輝度を下げます。
- バッテリが使用されていないときまたは充電されていないときは、コンピューターからバッテリを取り外します。
- 気温や湿度の低い場所にバッテリを保管します。

ロー バッテリ状態への対処

ここでは、出荷時に設定されている警告メッセージおよびシステム応答について説明します。ロー バッテリ状態の警告とシステム応答の設定は、Windows の[コントロール パネル]の[電源オプション]で変更できます。[電源オプション]を使用した設定は、ランプの状態には影響しません。

ロー バッテリ状態の確認

コンピューターの電源としてバッテリのみを使用しているときにバッテリがロー バッテリ状態になると、バッテリ ランプが点滅します。

ロー バッテリ状態を解決しないと完全なロー バッテリ状態に入り、バッテリ ランプがすばやく点滅します。

完全なロー バッテリの状態になった場合、コンピューターでは以下の処理が行われます。

- ハイバネーションが有効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、ハイバネーションが開始されます。
- ハイバネーションが無効で、コンピューターの電源が入っているかスリープ状態のときは、短い時間スリープ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存されていない情報は失われます。

ロー バッテリ状態の解決

△ **注意：** コンピューターが完全なロー バッテリ状態になり、ハイバネーションが起動された場合は、情報の損失を防ぐため、電源ランプが消灯するまで電源を入れないでください。

外部電源を使用できる場合のロー バッテリ状態の解決

▲ 純正の AC アダプターに接続します。

充電済みのバッテリを使用できる場合のロー バッテリ状態の解決

1. コンピューターの電源を切るか、ハイバネーションを開始します。
2. 放電したバッテリを取り外し、充電済みのバッテリを装着します。
3. コンピューターの電源を入れます。

電源を使用できない場合のロー バッテリ状態の解決

▲ ハイバネーションを開始します。

または

作業中のデータを保存してコンピューターをシャットダウンします。

ハイバネーションを終了できない場合のロー バッテリ状態の解決

ハイバネーションを終了するための十分な電力がコンピューターに残っていない場合は、以下の操作を行います。

1. 充電済みのバッテリを装着するか、コンピューターを外部電源に接続します。
2. 電源スイッチを短くスライドさせてハイバネーションを終了します。

バッテリ ゲージの調整

バッテリ ゲージの調整は、以下の場合に必要です。

- バッテリ充電情報の表示が不正確な場合
- バッテリの通常の動作時間が極端に変化した場合

バッテリを頻繁に使用している場合でも、1 か月に 2 回以上バッテリ ゲージを調整する必要はありません。また、新しいバッテリを初めて使用する前にバッテリ ゲージを調整する必要はありません。

手順 1：バッテリを完全に充電する

⚠ **警告！** 航空機内でコンピューターのバッテリを充電しないでください。

注記： バッテリは、コンピューターの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が早く充電が完了します。

バッテリを完全に充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターにバッテリを装着します。
2. コンピューターを AC アダプターに接続し、そのアダプターを外部電源に接続します。

   充電が完了すると、コンピューターのバッテリ ランプがオレンジ色に点灯します。
3. バッテリが完全に充電されるまで、コンピューターを外部電源に接続しておきます。

   充電が完了すると、コンピューターのバッテリ ランプが白色に点灯します。

手順 2：ハイバネーションおよびスリープを無効にする

1. 通知領域にある**[バッテリ メーター]**アイコン→**[電源オプション]**の順にクリックします。

   または

   [スタート]→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**→**[電源オプション]**の順に選択します。
2. 現在の電源プランのもとで、**[プラン設定の変更]**をクリックします。
3. バッテリ ゲージの調整後に設定を元に戻せるように、**[バッテリ駆動]**列の**[ディスプレイの電源を切る]**の設定を記録しておきます。

4. **[ディスプレイの電源を切る]**の設定を**[しない]**に変更します。

5. **[詳細な電源設定の変更]**をクリックします。

6. **[スリープ]**の横のプラス記号（＋）→**[次の時間が経過後休止状態にする]**の横のプラス記号の順にクリックします。

7. バッテリ ゲージの調整後に設定を元に戻せるように、**[次の時間が経過後休止状態にする]**の下の**[バッテリ駆動]**の設定を記録しておきます。

8. **[バッテリ駆動]**の設定を**[なし]**に変更します。

9. **[OK]**をクリックします。

10. **[変更の保存]**をクリックします。

手順 3：バッテリを放電する

バッテリの放電中は、コンピューターの電源を入れたままにしておく必要があります。バッテリは、コンピューターを使用しているかどうかにかかわらず放電できますが、使用している方が早く放電が完了します。

- 放電中にコンピューターを放置しておく場合は、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。

- 放電中にコンピューターを使用する予定で、省電力設定を利用している場合、放電処理中はシステムの動作が以下のようになります。

  - モニターが自動的にオフになりません。

  - コンピューターがアイドル状態のときでも、ハードドライブの速度は自動的に低下しません。

  - システムによるハイバネーションは開始されません。

バッテリを放電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源から切り離します。ただし、コンピューターの電源は切らないでください。

2. バッテリが放電するまで、バッテリ電源でコンピューターを動作させます。バッテリの放電が進んでロー バッテリ状態になると、バッテリ ランプが白色で点滅し始めます。バッテリが放電すると、バッテリ ランプが消灯して、コンピューターの電源が切れます。

手順 4：バッテリを完全に再充電する

バッテリを再充電するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを外部電源に接続して、バッテリが完全に再充電されるまで接続したままにします。再充電が完了すると、コンピューターのバッテリ ランプが白色に点灯します。

   バッテリの再充電中でもコンピューターは使用できますが、電源を切っておく方が充電が早く完了します。

2. コンピューターの電源を切っていた場合は、バッテリが完全に充電されてバッテリ ランプが白色に点灯した後で、コンピューターの電源を入れます。

手順 5：ハイバネーションおよびスリープを再び有効にする

△ **注意：** バッテリ ゲージの調整後にハイバネーションを再度有効にしないと、コンピューターが完全なロー バッテリ状態になった場合、バッテリが完全に放電して情報が失われるおそれがあります。

1. 通知領域にある**[バッテリ メーター]**アイコン→**[電源オプション]**の順にクリックします。

   または

   [スタート]→**[コントロール パネル]**→**[システムとセキュリティ]**→**[電源オプション]**の順に選択します。
2. 現在の電源プランのもとで、**[プラン設定の変更]**をクリックします。
3. **[バッテリ駆動]**列の項目を、記録しておいた設定に戻します。
4. **[詳細な電源設定の変更]**をクリックします。
5. **[スリープ]**の横のプラス記号（＋）→**[次の時間が経過後休止状態にする]**の横のプラス記号の順にクリックします。
6. **[バッテリ駆動]**列を、記録しておいた設定に戻します。
7. **[OK]**をクリックします。
8. **[変更の保存]**をクリックします。

バッテリの節電

- Windows の[コントロール パネル]で、[システムとセキュリティ]の[電源オプション]から[省電力]電源プランを選択します。
- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続とローカル エリア ネットワーク（LAN）接続をオフにして、モデムを使用するアプリケーションを使用後すぐに終了します。
- 外部電源に接続されていない外付けデバイスのうち、使用していないものをコンピューターから取り外します。
- 使用していない外付けメディア カードを停止するか、無効にするか、または取り出します。
- 必要に応じて画面輝度を調節するには、f2 および f3 操作キーを使用します。
- しばらく作業を行わないときは、スリープまたはハイバネーションを開始するか、コンピューターの電源を切ります。

バッテリの保管

△ **注意：** 故障の原因となりますので、バッテリを温度の高い場所に長時間放置しないでください。

2 週間以上コンピューターを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリを取り出して別々に保管してください。

保管中のバッテリの放電を抑えるには、バッテリを気温や湿度の低い場所に保管してください。

注記： 保管中のバッテリは 6 か月ごとに点検する必要があります。容量が 50%未満になっている場合は、再充電してから保管してください。

1 か月以上保管したバッテリを使用するときは、最初にバッテリ ゲージの調整を行ってください。

使用済みのバッテリの処理

⚠ **警告！** 化学薬品による火傷や発火のおそれがありますので、分解したり、壊したり、穴をあけたりしないでください。また、接点をショートさせたり、火や水の中に捨てたりしないでください。

バッテリの処理については、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。バッテリは消耗品です。

コンピューターのシャットダウン

△ **注意：** コンピューターをシャットダウンすると、保存されていない情報は失われます。

[シャットダウン]コマンドはオペレーティング システムを含む開いているすべてのプログラムを終了し、ディスプレイおよびコンピューターの電源を切ります。

以下の場合は、コンピューターをシャットダウンします。

- バッテリを交換したりコンピューター内部の部品に触れたりする必要がある場合
- USB コネクタ以外のコネクタに外付けハードウェア デバイスを接続する場合
- コンピューターを長期間使用せず、外部電源から切断する場合

電源スイッチでコンピューターをシャットダウンすることもできますが、Windows の[シャットダウン]コマンドを使用した手順をおすすめします。

コンピューターをシャットダウンするには、以下の操作を行います。

注記： コンピューターがスリープまたはハイバネーション状態の場合は、シャットダウンをする前にスリープまたはハイバネーションを終了する必要があります。

1. 作業中のデータを保存して、開いているすべてのプログラムを閉じます。
2. **[スタート]**をクリックします。
3. **[シャットダウン]**をクリックします。

コンピューターが応答しなくなり、上記のシャットダウン手順を使用できない場合は、以下の緊急手順を記載されている順に試みてください。

- ctrl ＋ alt ＋ delete キーを押し、**[電源]**ボタンをクリックします。
- 電源スイッチをスライドさせて 5 秒程度そのままにします。
- コンピューターを外部電源から切断し、バッテリを取り外します。

4　インターネット

お使いのコンピューターは、以下の種類のインターネット アクセスに対応しています。

- 有線：RJ-45（ネットワーク）コネクタを使用してブロードバンド ネットワークに接続することで、インターネットにアクセスできます。
- 無線：モバイル インターネット接続には、無線接続を使用できます。無線ネットワークをセットアップしたり、既存のネットワークにコンピューターを追加したりする方法については、「無線ネットワークへの接続」を参照してください。

有線ネットワークへの接続

ローカル エリア ネットワーク（LAN）に接続するには、8 ピンの RJ-45 ネットワーク ケーブル（別売）を使用する必要があります。ネットワーク ケーブルに、テレビやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コア（**1**）が取り付けられている場合は、コアが取り付けられている方のケーブルの端（**2**）をコンピューター側に向けます。

ネットワーク ケーブルを接続するには、以下の操作を行います。

⚠ **警告！**　火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、モデム ケーブルまたは電話ケーブルを RJ-45（ネットワーク）コネクタに接続しないでください。

1. ネットワーク ケーブルをコンピューター本体のネットワーク コネクタに差し込みます（**1**）。
2. ケーブルのもう一方の端をデジタル モジュラー コンセントに差し込みます（**2**）。

無線ネットワークへの接続

無線デバイスの使用

無線技術では、有線のケーブルの代わりに電波を介してデータを転送します。お買い上げいただいたコンピューターには、以下の無線デバイスが 1 つ以上内蔵されている場合があります。

- 無線ローカル エリア ネットワーク（無線 LAN）デバイス：会社の事務所、自宅、および公共の場所（空港、レストラン、喫茶店、ホテル、大学など）で、コンピューターを無線ローカル エリア ネットワーク（一般に、無線 LAN ネットワーク、無線 LAN、WLAN と呼ばれます）に接続します。無線 LAN では、各モバイル無線デバイスは無線ルータまたは無線アクセス ポイントと通信します。
- HP モバイル ブロードバンド モジュール（一部のモデルのみ）：モバイル ネットワーク事業者のサービスが利用できる場所であればどこでも情報にアクセスできる、無線ワイド エリア ネットワーク（無線 WAN）デバイスです。無線 WAN では、各モバイル デバイスはモバイル ネットワーク事業者の基地局と通信します。モバイル ネットワーク事業者は、地理的に広い範囲に基地局（携帯電話の通信塔に似ています）のネットワークを設置し、県や地域、場合によっては国全体にわたってサービスエリアを効率的に提供します。
- Bluetooth デバイス：他の Bluetooth 対応デバイス（コンピューター、電話機、プリンター、ヘッド セット、スピーカー、カメラなど）に接続するためのパーソナル エリア ネットワーク（PAN）を確立します。PAN では、それぞれのデバイスが他のデバイスと直接通信するため、デバイス間の距離を比較的近くする必要があります（通常は約 **10 m** 以内）。

お使いのコンピューターは、以下の IEEE 業界標準に対応しています。

- 802.11b：最初に普及した規格であり、最大 11 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。
- 802.11g：最大 54 Mbps のデータ転送速度をサポートし、2.4 GHz の周波数で動作します。802.11g の無線 LAN デバイスは 802.11b デバイスとの後方互換性があるため、両方を同じネットワークで使用できます。

無線技術について詳しくは、[ヘルプとサポート]の情報および Web サイトへのリンクを参照してください。

無線アイコンとネットワーク アイコンの確認

アイコン	名前	説明
	無線（接続済み）	コンピューターのハードウェアとしての無線ランプおよび無線操作キーの位置を示します。ソフトウェアとしては、コンピューター上の[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを示し、また 1 つ以上の無線デバイスがオンになっていることを表します
	無線（切断済み）	コンピューター上の[HP Wireless Assistant]ソフトウェアおよびすべての無線デバイスがオフになっていることを示します
	HP Connection Manager	[HP Connection Manager]を開きます。[HP Connection Manager]では、HP モバイル ブロードバンド デバイスを使用した接続を作成できます（一部のモデルのみ）
	無線ネットワーク接続（接続済み）	1 つ以上の無線 LAN デバイスがネットワークに接続されていることを示します

アイコン	名前	説明
	無線ネットワーク接続（切断済み）	1 つ以上の無線 LAN デバイスがネットワークに接続されていないことを示します
	ネットワーク ステータス（接続済み）	1 つ以上の LAN ドライバーがインストールされていて、1 つ以上の LAN デバイスがネットワークに接続されていることを示します
	ネットワーク ステータス（切断済み）	1 つ以上の LAN ドライバーがインストールされているが、どの LAN デバイスもネットワークに接続されていないことを示します

無線コントロールの使用

以下の機能を使用して、コンピューター本体の無線デバイスを制御できます。

- f12 無線操作キー
- [HP Connection Manager]ソフトウェア（一部のモデルのみ）
- [HP Wireless Assistant]ソフトウェア（一部のモデルのみ）
- オペレーティング システムの制御機能

無線操作キーの使用

コンピューターには無線操作キー（f12）、1 つ以上の無線デバイス、1 つの無線ランプがあります。お使いのコンピューターでは、すべての無線デバイスが工場出荷時に有効になっています。

無線ランプは、無線デバイスの全体的な電源の状態を表すものであり、個々のデバイスの状態を表すものではありません。無線ランプが白色の場合は、少なくとも 1 つの無線デバイスがオンになっていることを示しています。無線ランプが点灯していない場合は、すべての無線デバイスがオフになっていることを示しています。

出荷時の設定ではすべての無線デバイスが有効になっています。このため、すべての無線デバイスのオンとオフの切り替えを無線操作キー（f12）で同時に行うことができます。

[HP Connection Manager]の使用（一部のモデルのみ）

お使いのコンピューターの HP モバイル ブロードバンド デバイスを使用して無線 LAN に接続するには、[HP Connection Manager]を使用します。

▲ [HP Connection Manager]を開くには、タスクバーの右端の通知領域にある**[HP Connection Manager]**アイコンをクリックします。

または

[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP Connection Manager]→[HP Connection Manager]の順に選択します。

[HP Connection Manager]の使用方法について詳しくは、[HP Connection Manager]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

[HP Wireless Assistant]ソフトウェアの使用

無線デバイスは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアを使用してオンとオフを切り替えることができます。無線デバイスがセットアップ ユーティリティで無効になっている場合、[HP Wireless Assistant]を使用してそのデバイスのオンとオフを切り替えるには、最初にセットアップ ユーティリティで無線デバイスを有効に設定しなおしておく必要があります。

注記： 無線デバイスを有効にしても（オンにしても）、コンピューターがネットワークまたはBluetooth 対応デバイスに自動的に接続されるわけではありません。

無線デバイスの状態を表示するには、**[隠れているインジケーターを表示します]**アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックし、無線アイコンの上にマウス ポインターを置きます。

無線アイコンが通知領域に表示されていない場合、以下の操作を行って[HP Wireless Assistant]のプロパティを変更します。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークとインターネット]→[HP Wireless Assistant]**の順に選択します。
2. **[プロパティ]**をクリックします。
3. **[通知領域の[HP Wireless Assistant]アイコン]**の横のチェック ボックスにチェックを入れます。
4. **[適用]**をクリックします。
5. **[閉じる]**をクリックします。

詳しくは、[HP Wireless Assistant]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

1. 通知領域にあるアイコンをダブルクリックして[HP Wireless Assistant]を起動します。
2. **[ヘルプ]**ボタンをクリックします。

取り付けられている無線デバイスごとにオン/オフの状態を表示してデバイスを個別に制御するには、[HP Wireless Assistant]のプロパティ ダイアログ ボックスを使用します。オン/オフの状態を表示するには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある**[HP Wireless Assistant]**アイコンをダブルクリックします。
2. **[プロパティ]**をクリックします。
3. 次に、**[搭載されている無線デバイスごとの制御]**チェック ボックスにチェックを入れ、**[適用]**をクリックします。
4. 各無線デバイスを個別に制御するには、**[オフにする]**または**[オンにする]**をクリックします。

オペレーティング システムの制御機能の使用

一部のオペレーティング システムでは、オペレーティング システム自体の機能として内蔵無線デバイスと無線接続を管理する方法が提供されています。たとえば、Windows では、[ネットワークと共有センター]によって、接続またはネットワークのセットアップ、ネットワークへの接続、無線ネットワークの管理、およびネットワークの問題の診断と修復が行えます。

▲ [ネットワークと共有センター]にアクセスするには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[ネットワークと共有センター]**の順に選択します。

詳しくは、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

無線 LAN の使用

無線 LAN デバイスを使用すると、無線ルータまたは無線アクセス ポイントによってリンクされた、複数のコンピューターおよび周辺機器で構成されている無線ローカル エリア ネットワーク（無線LAN）にアクセスできます。

注記： 無線ルータと無線アクセス ポイントという用語は、同じ意味で使用されることがよくあります。

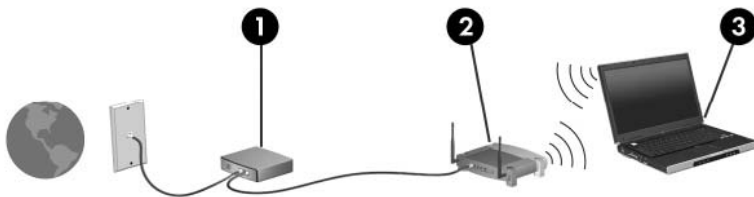
- 企業無線 LAN や公共無線 LAN などの大規模無線 LAN では通常、多数のコンピューターや周辺機器に対応できる無線アクセス ポイントを使用することによって、重要なネットワーク機能を他のサービスから切り離すことができます。
- ホーム オフィス無線 LAN やスモール オフィス無線 LAN では通常、無線ルータを使用して、複数台の無線接続または有線接続のコンピューターでインターネット接続、プリンター、およびファイルを共有できます。追加のハードウェアやソフトウェアは必要ありません。

お使いのコンピューターに搭載されている無線 LAN デバイスを使用するには、無線 LAN インフラストラクチャ（サービス プロバイダーか、公共または企業ネットワークを介して提供される）に接続する必要があります。

無線 LAN のセットアップ

無線 LAN をセットアップし、インターネットに接続するには、以下のような準備が必要です。

- ブロードバンド モデム（DSL またはケーブル）（**1**）およびインターネット サービス プロバイダー（ISP）が提供する高速インターネット サービス
- 無線ルータ（別売）（**2**）
- 無線デバイスを搭載しているコンピューター（**3**）

以下の図は、インターネットに接続している無線ネットワークのインストール例を示しています。

お使いのネットワークを拡張する場合、インターネットのアクセス用に新しい無線または有線のコンピューターをネットワークに追加できます。

無線 LAN のセットアップについて詳しくは、ルータの製造元または ISP から提供されている情報を参照してください。

無線 LAN の保護

無線 LAN の標準仕様に備わっているセキュリティ機能は限られていて、基本的には大規模な攻撃ではなく簡単な盗聴を防ぐための機能しかありません。そのため、無線 LAN には、既知でよく確認されているセキュリティの脆弱性があると認識しておくことが大切です。

「無線 LAN スポット」と呼ばれるインターネット カフェや空港などで利用できる公衆無線 LAN では、セキュリティ対策が取られていないことがあります。公共の場でのセキュリティと匿名性を高める新しい技術は、無線デバイスの製造元や無線 LAN スポットのサービス プロバイダーによって開発

されている段階です。無線 LAN スポットを利用するときにコンピューターのセキュリティに不安がある場合は、ネットワークに接続しての操作を、重要でない電子メールや基本的なネット サーフィン程度にとどめておいてください。

無線 LAN をセットアップする場合や、既存の無線 LAN にアクセスする場合は、常にセキュリティ機能を有効にして、不正アクセスからネットワークを保護してください。一般的なセキュリティ レベルは、WPA（Wi-Fi Protected Access）-Personal と WEP（Wired Equivalent Privacy）です。無線信号はネットワークの外に出てしまうため、他の無線 LAN デバイスに保護されていない信号を拾われ、（許可しない状態で）ネットワークに接続されたり、ネットワークでやり取りされる情報を取得されたりする可能性があります。ただし、事前に対策を取ることで無線 LAN を保護できます。

- **セキュリティ機能内蔵の無線トランスミッタを使用する**

  無線基地局、ゲートウェイ、またはルータといったトランスミッタの多くには、無線セキュリティ プロトコルやファイアウォールといったセキュリティ機能が内蔵されています。適切な無線トランスミッタを使用すれば、無線セキュリティでの最も一般的なリスクからネットワークを保護できます。

- **ファイアウォールを利用する**

  ファイアウォールは、ネットワークに送信されてくるデータとデータ要求をチェックし、疑わしいデータを破棄する防御壁です。利用できるファイアウォールにはさまざまな種類があり、ソフトウェアとハードウェアの両方があります。ネットワークによっては、両方の種類を組み合わせて使用します。

- **無線を暗号化する**

  さまざまな種類の高度な暗号プロトコルが、無線 LAN ネットワークで利用できます。お使いのネットワークのセキュリティにとって最適な解決策を、以下の中から探してください。

  - **WEP**（**Wired Equivalent Privacy**）は、すべてのネットワーク データを送信される前に WEP キーで符号化または暗号化する無線セキュリティ プロトコルです。通常は、ネットワーク側が割り当てた WEP キーを使用できます。また、自分でキーを設定したり、異なるキーを生成したり、他の高度なオプションを選んだりすることもできます。正しいキーを持たない他のユーザーが無線 LAN を使用することはできなくなります。

  - **WPA**（**Wi-Fi Protected Access**）は、WEP と同じように、セキュリティ設定によってネットワークから送信されるデータの暗号化および復号化を行います。ただし、WEP のように 1 つの決められたセキュリティ キーを利用して暗号化を行うのではなく、「TKIP」（temporal key integrity protocol）を使用してパケットごとに新しいキーを動的に生成します。また、ネットワーク上にあるコンピューターごとに異なるキーのセットを生成します。

無線 LAN への接続

無線 LAN に接続するには、以下の操作を行います。

1. 無線 LAN デバイスがオンになっていることを確認します。オンになっている場合は、無線ランプが白色に点灯しています。無線ランプが点灯していない場合は、f12 操作キーを押して無線接続をオンにします。

2. タスクバーの右端の通知領域にあるネットワーク アイコンをクリックします。

3. 一覧から無線 LAN を選択します。

4. **[接続]**をクリックします。

ネットワークがセキュリティ設定済みの無線 LAN である場合は、セキュリティ コードであるネットワーク セキュリティ キーの入力を求めるメッセージが表示されます。コードを入力し、**[OK]**をクリックして接続を完了します。

注記： 無線 LAN が一覧に表示されない場合は、無線ルータまたはアクセス ポイントの範囲外にいることを示します。

注記： 接続したいネットワークが表示されない場合は、**[ネットワークと共有センターを開く]**→**[新しい接続またはネットワークのセットアップ]**の順にクリックします。オプションの一覧が表示されます。手動での検索や、ネットワークへの接続、新しいネットワーク接続のセットアップなどのオプションを選択できます。

接続完了後、タスクバー右端の通知領域にあるネットワーク アイコンの上にマウス ポインターを置くと、接続の名前およびステータスを確認できます。

注記： 動作範囲（無線信号が届く範囲）は、無線 LAN の実装、ルータの製造元、および壁や床などの建造物やその他の電子機器からの干渉に応じて異なります。

無線 LAN の使用方法について詳しくは、以下のリソースを参照してください。

- インターネット サービス プロバイダー（ISP）から提供される情報や、無線ルータやその他の無線 LAN 機器に添付されている説明書等
- [ヘルプとサポート]で提供されている情報や、そこにある Web サイトのリンク

近くにある公共無線 LAN の一覧については、ISP に問い合わせるか Web を検索してください。公共無線 LAN の一覧を掲載している Web サイトは、「無線 LAN スポット」などのキーワードで検索できます。それぞれの公共無線 LAN の場所について、費用と接続要件を確認します。

企業無線 LAN へのコンピューターの接続について詳しくは、ネットワーク管理者または IT 部門に問い合わせてください。

他のネットワークへのローミング

お使いのコンピューターを他の無線 LAN が届く範囲に移動すると、Windows はそのネットワークへの接続を試みます。接続の試行が成功すると、お使いのコンピューターは自動的にそのネットワークに接続されます。新しいネットワークが Windows によって認識されなかった場合は、お使いの無線 LAN に接続するために最初に行った操作をもう一度実行してください。

HP モバイル ブロードバンドの使用（一部のモデルおよび一部の国や地域のみ）

HP モバイル ブロードバンドを使用すると、コンピューターで無線ワイド エリア ネットワーク（WWAN）を使用できるため、無線 LAN の使用時よりも、より多くの場所のより広い範囲からインターネットにアクセスできます。HP モバイル ブロードバンドを使用するには、ネットワーク サービス プロバイダー（**モバイル ネットワーク事業者**と呼ばれます）と契約する必要があります。ネットワーク サービス プロバイダーは、ほとんどの場合、携帯電話事業者です。HP モバイル ブロードバンドの対応範囲は、携帯電話の通話可能範囲とほぼ同じです。

モバイル ネットワーク事業者のサービスを利用して HP モバイル ブロードバンドを使用すると、出張や移動中、または無線 LAN スポットの範囲外にいるときでも、インターネットへの接続、電子メールの送信、および企業ネットワークへの接続が常時可能になります。

CDMA（Code Division Multiple Access）を有効にするための要件と GSM（Global System for Mobile Communications）を有効にするための要件は異なります。CDMA では MEID が必要ですが、GSM では SIM および SIM の情報が必要です。

HP モバイル ブロードバンドは、以下のテクノロジをサポートしています。

- HSPA（High Speed Packet Access）は、GSM 電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。

  HSPA サービスを有効にするには、モバイル ブロードバンド サービスを有効にするために HP モバイル ブロードバンド モジュールの IMEI（International Mobile Equipment Identity）番号が必要な場合があります。IMEI 番号は、コンピューターのバッテリ ベイの内側に貼付されているラベルに印刷されています。

  HSPA モバイル ネットワーク事業者のサービスを利用するには、SIM（Subscriber Identity Module）を使用する必要があります。SIM には、PIN（個人識別番号）やネットワーク情報など、ユーザーに関する基本的な情報が含まれています。

  一部のコンピューターでは、SIM がバッテリ ベイにあらかじめ装着されています。SIM があらかじめ装着されていない場合、SIM は、コンピューターに付属している HP モバイル ブロードバンド情報のパケットに含まれているか、モバイル ネットワーク事業者から別途入手できることがあります。

  SIM の装着および取り出しについて詳しくは、この章の「SIM の装着」および「SIM の取り出し」の項を参照してください。

- EV-DO（Evolution Data Optimized）は、CDMA 電気通信標準に基づいてネットワークへのアクセスを提供します。

モバイル ブロードバンド サービスを有効にするには、HP モバイル ブロードバンド モジュールの MEID（Module Mobile Equipment Identifier）が必要な場合があります。MEID は、コンピューターのバッテリ ベイの内側に貼付されているラベルに印刷されています。

HP モバイル ブロードバンドに関する情報や、推奨されるモバイル ネットワーク事業者のサービスを有効にする方法については、コンピューターに付属している HP モバイル ブロードバンド情報を参照してください。詳しくは、HP の Web サイト、http://h50146.www5.hp.com/products/portables/mobilebroadband/を参照してください。

SIM の装着

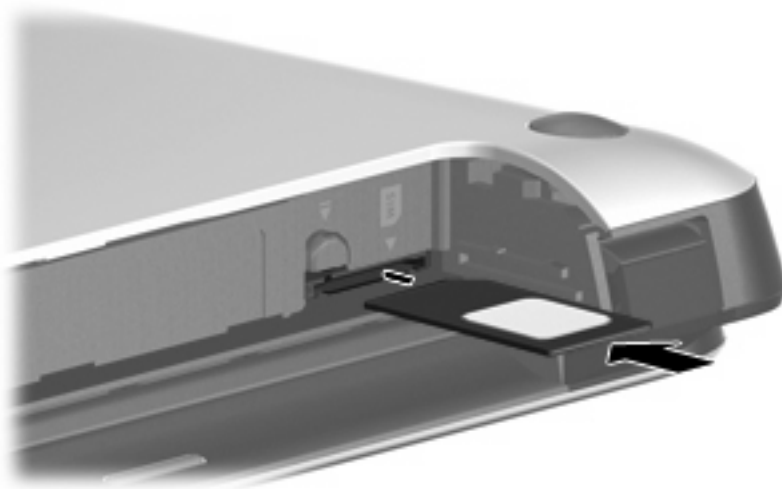
△ **注意：** SIM を装着するときには、カードの欠けた一角が図に示された位置にくるようにしてください。SIM を上下または裏表反対に挿入した場合、カチッという音はせず、バッテリは正しく固定されずに SIM および SIM コネクタが損傷するおそれがあります。

コネクタの損傷を防ぐため、SIM を装着するときは無理な力を加えないでください。

SIM を装着するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源スイッチをスライドさせてコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. バッテリ ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリを取り外します。

   注記： 詳しくは、このガイドの「バッテリの着脱」を参照してください。

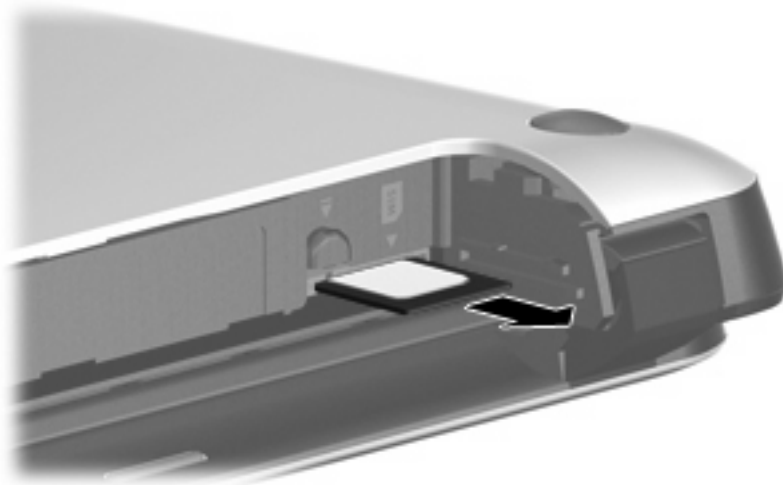
7. SIM を SIM スロットに挿入し、しっかり固定されるまでそっと押し込みます。

8. バッテリを取り付けなおします。

   注記： バッテリを装着しなおさないと、HP モバイル ブロードバンドは無効になります。

9. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
10. コンピューターの電源を入れます。

SIM の取り出し

SIM を取り出すには、以下の操作を行います。

1. コンピューターをシャットダウンします。コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源スイッチをスライドさせてコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
2. ディスプレイを閉じます。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜きます。
5. バッテリ ベイが手前を向くようにしてコンピューターを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. バッテリを取り外します。
7. SIM をいったんスロットに押し込んで、固定を解除してから取り出します。

8. バッテリを取り付けなおします。

注記： 詳しくは、このガイドの「バッテリの着脱」を参照してください。

9. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
10. コンピューターの電源を入れます。

Bluetooth 無線デバイスの使用

Bluetooth デバイスによって近距離の無線通信が可能になり、以下のような電子機器の通信手段を従来の物理的なケーブル接続から無線通信に変更できるようになりました。

- コンピューター（デスクトップ、ノートブック、PDA）
- 電話機（携帯、スマート フォン）
- イメージング デバイス（プリンター、カメラ）
- オーディオ デバイス（ヘッドセット、スピーカー）

Bluetooth デバイスは、Bluetooth デバイスの PAN（Personal Area Network）を設定できるピアツーピア機能を提供します。Bluetooth デバイスの設定と使用方法については、Bluetooth ソフトウェアのヘルプを参照してください。

Bluetooth とインターネット接続共有（ICS）

ホストとして 1 台のコンピューターに Bluetooth を設定し、そのコンピューターをゲートウェイとして利用して他のコンピューターがインターネットに接続できるようにすることは、HP ではおすすめしません。Bluetooth を使用して 2 台以上のコンピューターを接続する場合、インターネット接続共有（ICS）が可能なコンピューターはそのうちの 1 台で、他のコンピューターは Bluetooth ネットワークを利用してインターネットに接続することはできません。

Bluetooth は、お使いの Mini と、携帯電話、プリンター、カメラ、および PDA などの無線デバイスとの間で情報をやり取りして同期するような場合に強みを発揮します。Bluetooth および Windows オペレーティング システムでの制約によって、インターネット共有のために複数台のコンピューターを Bluetooth 経由で常時接続しておくことはできません。

5 マルチメディア

マルチメディア機能

お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。また、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

- 音楽を再生する内蔵スピーカー
- 写真および動画を撮影できる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア

ここでは、お使いのコンピューターに含まれているマルチメディア コンポーネントを確認する方法、およびマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

マルチメディア コンポーネントの確認

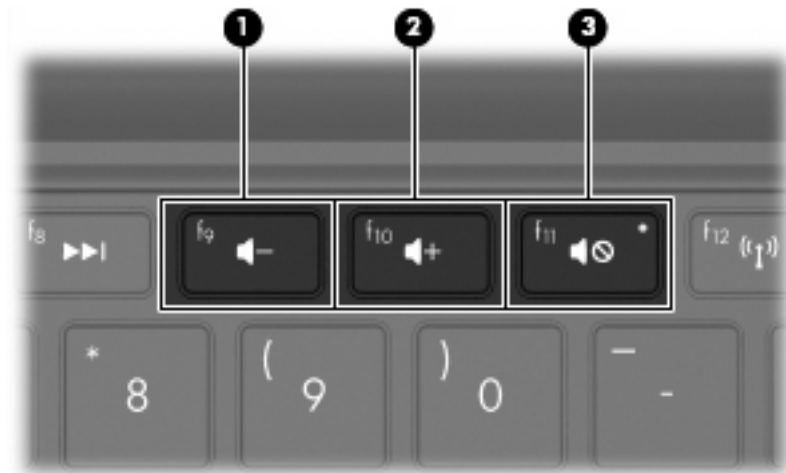
以下の図と表で、コンピューターのマルチメディア機能について説明します。

名称			説明
(1)		Web カメラ ランプ	点灯：Web カメラを使用しています
(2)		Web カメラ	動画を録画したり、静止画像を撮影したりします 注記： 動画の取り込みおよび編集を行うには、プリインストールされている[Arcsoft WebCam Companion 3]ソフトウェアを使用できます
(3)		内蔵マイク	サウンドを録音します
(4)		スピーカー（×2）	サウンドを出力します
(5)		ボリューム ミュート（消音）操作キー（f11）	スピーカーの音を消したり元に戻したりします
(6)		音量上げ操作キー（f10）	スピーカーの音量を上げます
(7)		音量下げ操作キー（f9）	スピーカーの音量を下げます
(8)		オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ/オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します。別売のヘッドセット マイクもここに接続します

名称	説明
	警告！ 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください **注記：** コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります オーディオ コンポーネントには、4 芯コネクタが装備されている必要があります

音量の調整

音量の調整には、コンピューターの以下の音量操作キーを使用できます。

- 音量を下げるには、音量下げ操作キー（f9）を押します（**1**）。
- 音量を上げるには、音量上げ操作キー（f10）を押します（**2**）。
- 音を消したり音量を元に戻したりするには、ボリューム ミュート（消音）操作キー（f11）を押します（**3**）。

- Windows の[ボリューム コントロール]：

  a. タスクバーの右端の通知領域にある**[スピーカー]**アイコンをクリックします。

  b. 音量を調整するには、スライダーを上下に移動します。**[スピーカーをミュート]**アイコンをクリックすると、音が出なくなります。

  または

  a. 通知領域にある**[スピーカー]**アイコンを右クリックして、**[音量ミキサーを開く]**をクリックします。

  b. 音量を調整するには、[スピーカー]列でスライダーを上下に移動します。**[スピーカーをミュート]**アイコンをクリックして音を消すこともできます。

[スピーカー]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の操作を行って表示します。

a. **[隠れているインジケーターを表示します]**アイコン（通知領域の左端にある矢印）を右クリックします。

b. **[通知アイコンのカスタマイズ]**をクリックします。

c. **[動作]**で、[スピーカー]アイコンの**[アイコンと通知を表示]**を選択します。

d. **[OK]**をクリックします。

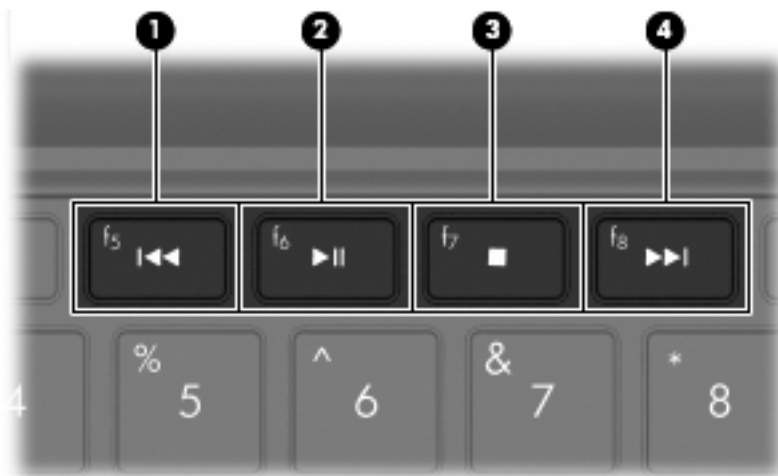
- プログラムの音量調整機能：

  プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

メディア操作キーの使用

メディア操作キーは、外付けオプティカル ドライブ（別売）内のオーディオ CD、DVD、または BD の再生を調整します。

注記：　外付けオプティカル ドライブは、ハブなどの他の外付けデバイスにある USB コネクタではなく、**コンピューター本体の** USB コネクタに接続する必要があります。

- オーディオ CD、DVD、または BD が再生中でない場合、再生/一時停止操作キー（f6）を押すとディスクが再生されます（**2**）。
- オーディオ CD、DVD、または BD の再生中は、以下のキーを使用します。
  - オーディオ CD の前のトラックまたは DVD や BD の前のチャプターを再生するには、前のトラック操作キー（f5）を押します（**1**）。
  - ディスクの再生を一時停止または再開するには、再生/一時停止操作キー（f6）を押します（**2**）。
  - ディスクを停止するには、停止操作キー（f7）を押します（**3**）。
  - オーディオ CD の次のトラックまたは DVD や BD の次のチャプターを再生するには、次のトラック操作キー（f8）を押します（**4**）。

マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピューターにはマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。コンピューターに搭載されているハードウェアおよびソフトウェアによっては、マルチメディアに関する以下の操作がサポートされている場合があります。

- オーディオ/ビデオ CD、オーディオ/ビデオ DVD、およびインターネット ラジオを含むデジタル メディアの再生
- データ CD の作成またはコピー
- オーディオ CD の作成、編集、および書き込み
- DVD やビデオ CD でのビデオまたは動画の作成、編集、および書き込み

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアの使用

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアを確認するには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。たとえば、[Windows Media Player]（一部のモデルのみ）を使用する場合は、**[Windows Media Player]**をクリックします。

注記： サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。

インターネットからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

▲ インターネットからマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、ソフトウェアの製造元の Web サイトにアクセスし、説明に沿って操作します。

注記： インターネットからダウンロードしたソフトウェアにはウィルスが含まれている可能性があります。詳しくは、「セキュリティ」の章を参照してください。

オーディオ

お使いのコンピューターでは、以下のさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピューター本体のスピーカーまたは接続した外付けスピーカーを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは別売のヘッドセット マイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信

外付けオーディオ デバイスの接続

⚠ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外付けスピーカー、ヘッドフォン、ヘッドセット マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるよう、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルが、オーディオ出力（ヘッドフォン）およびオーディオ入力（マイク）の両方をサポートする 4 芯コネクタを備えていることを確認します。
- 外付けデバイス ケーブルがお使いのコンピューターのコネクタにしっかりと接続されていることを確認します。
- 外付けデバイスに必要なドライバーがある場合は、そのドライバーをインストールします。

  注記： ドライバーは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバーターとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認

お使いのコンピューターのシステム サウンドを確認するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]**の順に選択します。
2. **[ハードウェアとサウンド]**をクリックします。
3. **[サウンド]**をクリックします。
4. [サウンド]ウィンドウが開いたら、**[サウンド]**タブをクリックします。**[プログラム イベント]**でビープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択してから、**[テスト]**ボタンをクリックします。

   スピーカーまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピューターの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[サウンド レコーダー]**の順に選択します。
2. **[録音の開始]**をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. [Windows Media Player]または[HP TouchSmart]を開き、サウンドを再生します。

注記： 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

コンピューターのオーディオ設定を確認または変更するには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[サウンド]**の順に選択します。

動画

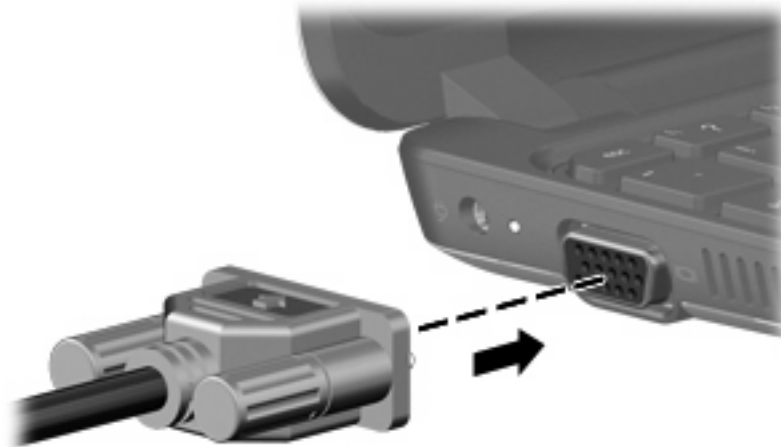
お使いのコンピューターでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーションの作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続

外付けモニターまたはプロジェクターの接続

モニターやプロジェクターなどの外付けディスプレイは、VGA ケーブル（別売）を使用してコンピューターの外付けモニター コネクタに接続します。

外付けモニターまたはプロジェクターを接続するには、以下の操作を行います。

1. 別売の VGA ケーブルをコンピューターの外付けモニター コネクタに接続します。

2. ケーブルのもう一方の端を外付けモニターまたはプロジェクターに接続します。

注記： 正しく接続された外付けモニターまたはプロジェクターの画面に画像が表示されない場合は、f4 操作キーを押して画像をその外付けディスプレイに転送します。f4 キーを繰り返し押すと、表示画面が外付けディスプレイとコンピューターとの間で切り替わります。

Web カメラ

お使いのコンピューターには、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。Web カメラは、動画を録画したり静止画像を撮影したりできる入力デバイスです。

注記： 動画の録画および編集を行うには、プリインストールされている[Arcsoft WebCam Companion 3]を使用できます。

[Arcsoft WebCam Companion 3]ソフトウェアを使用して Web カメラにアクセスするには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Arcsoft WebCam Companion 3]**の順に選択します。
2. ダイアログ ボックスで、**[Capture]**（取り込み）または**[Edit]**（編集）を選択できます。

   注記： 詳しくは、[Arcsoft WebCam Companion 3]ソフトウェアのヘルプを参照してください。

6　セキュリティ

コンピューターの保護

Windows オペレーティング システムおよび Windows 以外のセットアップ ユーティリティによって提供される標準のセキュリティ機能によって、個人設定およびデータをさまざまなリスクから保護できます。

以下の機能を使用するには、このガイドに記載されている手順に沿って操作します。

- パスワード
- ファイアウォール ソフトウェア
- ウィルス対策サポート（Norton Internet Security）
- 緊急セキュリティ アップデート

注記：　セキュリティ ソリューションは、抑止効果を発揮することを目的として設計されていますが、ソフトウェアによる攻撃、またはコンピューターの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

注記：　コンピューターを修理などのために送付する場合は、可能な限り事前にすべてのパスワード設定を削除してください。

コンピューターでの危険性	セキュリティ機能
コンピューターの不正な使用	電源投入時パスワード
データへの不正なアクセス	• ファイアウォール ソフトウェア • Windows Update
セットアップ ユーティリティ、BIOS 設定、およびその他のシステム識別情報への不正アクセス	管理者パスワード
コンピューターへの現在または将来の脅威	Microsoft からの緊急セキュリティ アップデート
Windows ユーザー アカウントへの不正なアクセス	ユーザー パスワード

パスワードの使用

パスワードとは、お使いのコンピューターの情報を保護するために選択する文字列です。情報へのアクセスの制御方法に応じてさまざまな種類のパスワードを選択できます。パスワードは、Windows、およびコンピューターにプリインストールされている Windows には依存しないセットアップ ユーティリティで設定します。

△ **注意：** コンピューターがロックされないように、設定したパスワードをすべて書き留めてください。ほとんどのパスワードは設定、変更、削除するときに表示されないため、パスワードをすぐに書き留め、他人の目にふれない安全な場所に保管する必要があります。

セットアップ ユーティリティの機能と Windows のセキュリティ機能には、同じパスワードを使用できます。また、複数のセットアップ ユーティリティ機能に同じパスワードを使用することもできます。

セットアップ ユーティリティでパスワードを設定する場合は、以下の点に注意してください。

- パスワードは、最長 8 文字まで英数字を組み合わせて指定できます。また、大文字と小文字は区別されます。
- セットアップ ユーティリティで設定するパスワードは、セットアップ ユーティリティのプロンプトで入力する必要があります。Windows に設定されるパスワードは、Windows プロンプトで入力する必要があります。

パスワードを作成したり保存したりするときは、以下のヒントを参考にしてください。

- パスワードを作成するときは、プログラムの要件に従う
- パスワードを書き留めておき、コンピューターから離れた他人の目にふれない安全な場所に保管する
- パスワードをコンピューター上のファイルに保存しない
- 部外者が簡単に知ることができる名前などの個人情報を使用しない

以下の項目では、Windows のパスワードおよびセットアップ ユーティリティのパスワードのそれぞれの機能について説明します。スクリーン セーバーのパスワードなど、Windows のパスワードについては、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択してください。

Windows でのパスワードの設定

パスワード	機能
管理者パスワード	管理者レベルのデータへのアクセスを保護します **注記：** このパスワードは、セットアップ ユーティリティのデータへのアクセスには使用できません
ユーザー パスワード	Windows ユーザー アカウントへのアクセスを保護します。コンピューターのデータへのアクセスも保護します。スリープまたはハイバネーションを終了するときに入力する必要があります

セットアップ ユーティリティでのパスワードの設定

パスワード	機能
管理者パスワード*	● セットアップ ユーティリティへのアクセスを保護します ● パスワードの設定後は、セットアップ ユーティリティにアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります **注意：** 管理者パスワードを忘れた場合は、セットアップ ユーティリティにアクセスできません

パスワード	機能
電源投入時パスワード*	● コンピューターのデータへのアクセスを保護します ● パスワード設定後は、コンピューターの電源投入時、再起動時、またはハイバネーションの終了時には必ずこのパスワードを入力する必要があります 注意： 電源投入時パスワードを忘れると、コンピューターの電源を入れることも、再起動も、ハイバネーションの終了もできなくなります
*各パスワードについて詳しくは、以下の項目を参照してください。	

セットアップ ユーティリティの管理者パスワード

管理者パスワードは、セットアップ ユーティリティ内の設定値とシステム識別情報を保護します。パスワードの設定後は、セットアップ ユーティリティにアクセスするたびにこのパスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、Windows で設定した管理者パスワードで置き換えができず、設定、入力、変更、または削除時に表示されません。必ずパスワードを書き留め、安全な場所に保管してください。

セットアップ ユーティリティの管理者パスワードの管理

パスワードを設定、変更、および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動してセットアップ ユーティリティを開き、画面の左下隅に[F10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。
2. 矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[Set Administrator Password]**（管理者パスワードの設定）の順に選択し、enter キーを押します。
   - 管理者パスワードを設定するには、**[Enter New Password]**（新しいパスワードの入力）および**[Confirm New Password]**（新しいパスワードの確認）フィールドにパスワードを入力し、enter キーを押します。
   - 管理者パスワードを変更するには、**[Enter Current Password]**（現在のパスワードの入力）フィールドに現在のパスワードを入力し、**[Enter New Password]**および**[Confirm New Password]**フィールドに新しいパスワードを入力し、enter キーを押します。
   - 管理者パスワードを削除するには、**[Enter Password]**（パスワードの入力）フィールドに現在のパスワードを入力し、enter キーを 4 回押します。
3. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**（終了）→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

セットアップ　ユーティリティの管理者パスワードの入力

[Enter Password]（パスワードの入力）画面が表示されたら、管理者パスワードを入力して enter キーを押します。3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動し、入力しなおしてください。

電源投入時パスワード

電源投入時パスワードは、コンピューターが不正に使用されることを防ぎます。パスワード設定後は、コンピューターの電源投入時、再起動時、またはハイバネーションの終了時には必ずこのパスワードを入力する必要があります。電源投入時パスワードの文字そのものは、設定、入力、変更、または削除する場合に表示されません。

電源投入時パスワードの管理

パスワードを設定、変更、および削除するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動してセットアップ ユーティリティを開き、画面の左下隅に[F10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。
2. 矢印キーを使用して**[Security]**（セキュリティ）→**[Set Power-On Password]**（電源投入時パスワードの設定）の順に選択し、enter キーを押します。
   - 電源投入時パスワードを設定するには、**[Enter New Password]**（新しいパスワードの入力）および**[Confirm New Password]**（新しいパスワードの確認）フィールドにパスワードを入力し、enter キーを押します。
   - 電源投入時パスワードを変更するには**[Enter Current Password]**（現在のパスワードの入力）フィールドに現在のパスワードを入力し、**[Enter New Password]**および**[Confirm New Password]**フィールドに新しいパスワードを入力し、enter キーを押します。
   - 電源投入時パスワードを削除するには、**[Enter Current Password]**フィールドに現在のパスワードを入力し、enter キーを 4 回押します。
3. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**（終了）→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択します。

変更した内容は、次回コンピューターを起動したときに有効になります。

電源投入時パスワードの入力

[Enter Password]（パスワードの入力）画面が表示されたらパスワードを入力して enter キーを押します。3 回続けて間違えて入力した場合は、コンピューターを再起動し、入力しなおしてください。

ウィルス対策ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールを使用したり、インターネットに接続したりする場合、コンピューターがコンピューター ウィルスの危険にさらされます。コンピューター ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、アプリケーション、ユーティリティなどが使用できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。

ウィルス対策ソフトウェアを使用すると、既知のウィルスを検出および駆除したり、多くの場合はウィルスの被害にあった箇所を修復したりできます。新しく発見されたウィルスからコンピューターを保護するには、ウィルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

お使いのコンピューターには、ウィルス対策プログラムの[Norton Internet Security]があらかじめインストールされています。

- プリインストールされているバージョンの[Norton Internet Security]は、使用開始後 60 日間は無料で更新できます。延長更新サービスを購入し、60 日以後も新しいウィルスからコンピューターを保護することを強くおすすめします。[Norton Internet Security]ソフトウェアの使用と更新、および延長更新サービスの購入の手順は、プログラム内から参照できます。
- [Norton Internet Security]にアクセスしたり、詳しい情報を取得したりするには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[Norton Internet Security]**の順に選択します。

注記： ウィルス対策ソフトウェアを常に更新してコンピューターを保護することをおすすめします。

注記： コンピューター ウィルスについてさらに詳しく調べるには、[ヘルプとサポート]の[検索]テキスト フィールドに「ウィルス」と入力してください。

ファイアウォール ソフトウェアの使用

コンピューターで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、第三者がコンピューターや個人用ファイルにアクセスしたり、使用者に関する情報を不正に取得してしまう可能性があります。プライバシを保護するため、コンピューターにプリインストールされているファイアウォール ソフトウェアを使用してください。

ネットワーク処理のログおよびレポート情報や、自動アラームなどのファイアウォール機能を使用して、コンピューターでの送受信の流れを監視します。詳しくは、ファイアウォールの説明書を参照するか、ファイアウォールの製造元に問い合わせてください。

注記： 特定の状況下では、ファイアウォールがインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンターやファイルの共有に干渉したり、許可されている電子メールの添付ファイルをブロックしたりすることがあります。問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

緊急アップデートのインストール

△ 注意： Microsoft 社は、緊急アップデートに関する通知を配信しています。お使いのコンピューターをセキュリティの侵害やコンピューター ウィルスから保護するため、通知があった場合はすぐに Microsoft 社からのすべてのオンライン緊急アップデートをインストールしてください。

オペレーティング システムやその他のソフトウェアに対するアップデートが、コンピューターの工場出荷後にリリースされている可能性があります。すべての使用可能なアップデートが確実にコンピューターにインストールされているようにするには、以下の操作を行います。

- コンピューターのセットアップが完了したら、できる限りすぐに[Windows Update]を実行します。**[スタート]→[すべてのプログラム]→[Windows Update]**の順に選択すると表示されるアップデート リンクを使用します。
- [Windows Update]は、1 か月に 1 回など、一定期間ごとに実行してください。
- Windows およびその他の Microsoft のプログラムのアップデートがリリースされるたびに、Microsoft 社の Web サイトおよび[ヘルプとサポート]のアップデート リンクから入手します。

7　メディア カード

別売のメディア カードは、データを安全に格納し、簡単にデータを共有できるカードです。これらのカードは、他のコンピューター（デバイス）以外にも、デジタル メディア対応のカメラや PDA などでよく使用されます。

お使いのコンピューターのメディア スロットは、以下のフォーマットに対応しています。

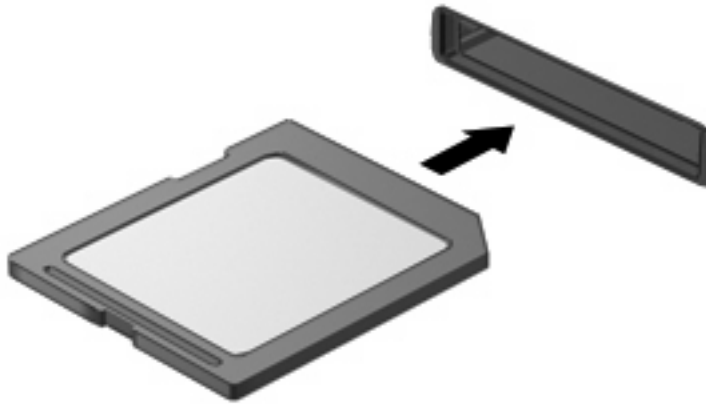
- メモリースティック（MS）
- メモリースティック PRO（MS-PRO）
- マルチメディアカード（MMC）
- SDHC（Secure Digital High Capacity）メモリーカード（標準サイズおよび大きいサイズ）
- xD ピクチャーカード（XD）

メディア カードの挿入

△ **注意：**　メディア カードまたはコンピューターの損傷を防ぐため、メディア スロットにはどのような種類のアダプターも挿入しないでください。

注意：　メディア カード コネクタの損傷を防ぐため、メディア カードを挿入するときには、無理な力を加えないでください。

1. メディア カードのラベルを上にし、コネクタをコンピューター側に向けて持ちます。

2. メディア スロットにカードを挿入し、カードがしっかりと収まるまで押し込みます。

デバイスが検出されると音が鳴り、場合によっては使用可能なオプションのメニューが表示されます。

メディア カードの取り出し

△ 注意： 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行ってメディア カードを安全に取り出します。

1. 情報を保存し、メディア カードに関連するすべてのプログラムを閉じます。

注記： データ転送を停止するには、オペレーティング システムの[コピー中]ウィンドウで**[キャンセル]**をクリックします。

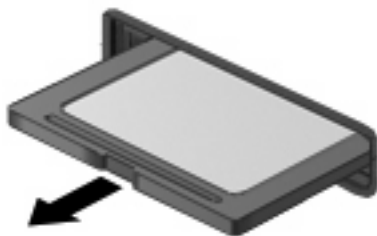
2. メディア カードを取り出すには、以下の操作を行います。

a. タスクバーの右端の通知領域にある**[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]**アイコンをクリックします。

注記： タスクバーに[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンを表示するには、**[隠れているインジケーターを表示します]**アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックします。

b. 一覧からメディア カード名をクリックします。

注記： ハードウェア デバイスを安全に取り外すことができるというメッセージが表示されます。

c. メディア カードを押して固定を解除し、メディア カードを引いてスロットから取り出します。

8 USB デバイス

USB（Universal Serial Bus）デバイスの使用

USB（Universal Serial Bus）は、USB キーボード、マウス、ドライブ、プリンター、スキャナー、ハブなどの別売の外付けデバイスを接続するためのハードウェア インターフェイスです。デバイスをシステムに接続できます。

USB デバイスには、追加サポート ソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。デバイス固有のソフトウェアについて詳しくは、デバイスに付属している操作説明書を参照してください。

コンピューターには 3 つの USB コネクタがあり、USB 1.0、USB 1.1、および USB 2.0 の各デバイスに対応しています。 別売の USB ハブには、コンピューターで使用できる USB コネクタが装備されています。

USB デバイスの接続

△ **注意：** USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスを接続するときは無理な力を加えないでください。

▲ USB デバイスを接続するには、USB デバイスの USB ケーブルを USB コネクタに接続します。

デバイスが検出されると音が鳴ります。

注記： USB デバイスを接続すると、通知領域にシステムがデバイスを認識したことを示すメッセージが表示されます。

USB デバイスの取り外し

△ **注意：** 情報の損失やシステムの応答停止を防ぐため、以下の操作を行って USB デバイスを安全に取り外します。

注意： USB コネクタの損傷を防ぐため、USB デバイスを取り外すときはケーブルを引っ張らないでください。

USB デバイスを取り外すには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある**[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]**アイコンをクリックします。

   注記： タスクバーに[ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す]アイコンを表示するには、**[隠れているインジケーターを表示します]**アイコン（通知領域の左側にある矢印）をクリックします。

2. 一覧からデバイス名をクリックします。

   注記： デバイスを安全に取り外すことができるというメッセージが表示されます。

3. デバイスを取り外します。

9　ポインティング デバイスおよびキーボード

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

ボタンの構成、クリック速度、ポインター オプションのような、ポインティング デバイスの設定をカスタマイズするには、Windows の[マウスのプロパティ]を使用します。

マウスのプロパティにアクセスするには、**[スタート]→[デバイスとプリンター]**の順に選択します。次に、お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックして、**[マウス設定]**を選択します。

タッチパッドの使用

ポインターを移動するには、タッチパッドの表面でポインターを移動したい方向に指をスライドさせます。タッチパッド ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に使用します。タッチパッドのスクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

注記：　タッチパッドの各部について詳しくは、このガイドの「タッチパッド」を参照してください。

タッチパッドでは、さまざまな種類のタッチパッド ジェスチャがサポートされています。タッチパッド ジェスチャを行うには、以下の項目で説明しているように、2 本の指をタッチパッド上に置きます。

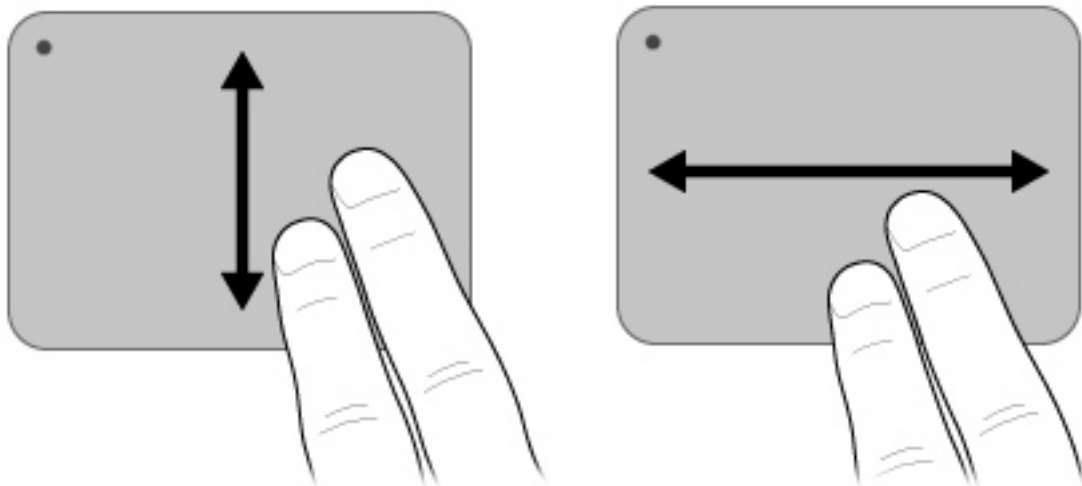
ここで説明するタッチパッド操作は、工場出荷時に有効になっています。これらの操作を無効または再び有効にするには、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右端の通知領域にある**[Synaptics]**（シナプティクス）アイコンをダブルクリックしてから、**[Device Settings]**（デバイスの設定）タブをクリックします。
2. デバイスを選択し、**[Settings]**（設定）をクリックします。
3. チェック ボックスのチェックを外してタッチパッド操作を無効にするか、チェックを入れて再び有効にします。
4. **[Apply]**（適用）→**[OK]**の順にクリックします。

スクロール

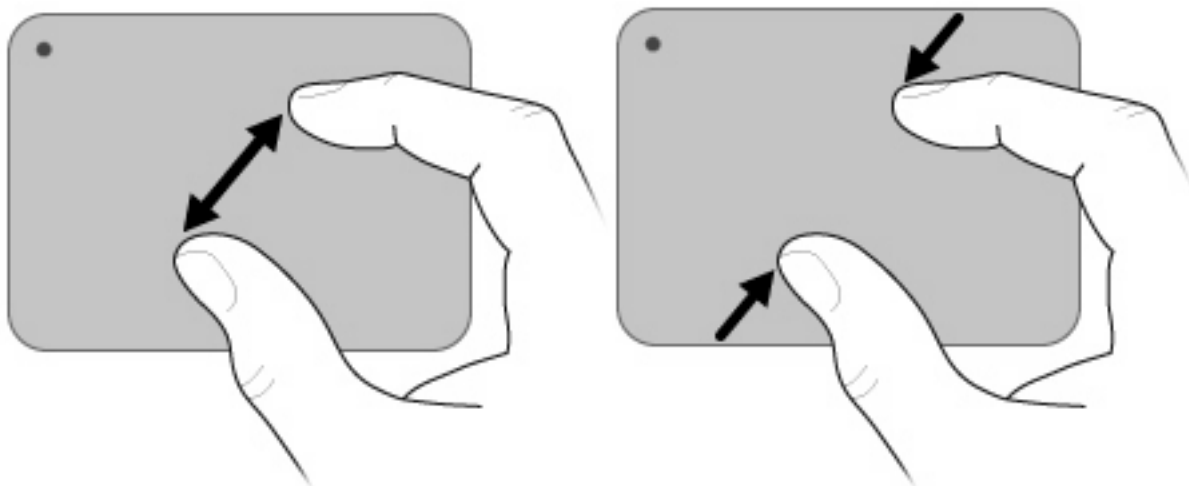
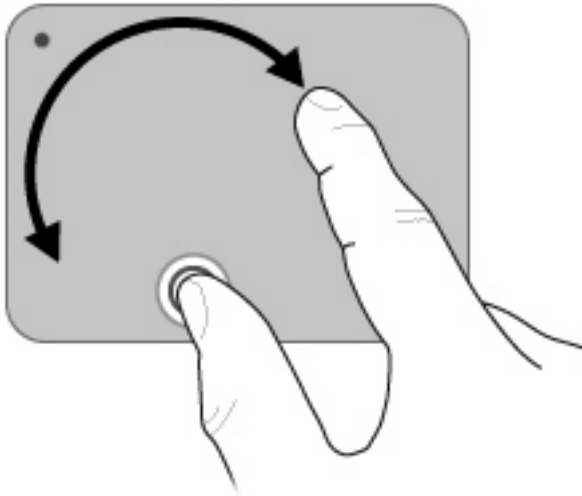
スクロールは、ページや画像を上下に移動するときに便利です。スクロールを行うには、2 本の指をタッチパッド上に置いて、それらの指をタッチパッド上で上下左右に動かします。

注記：　スクロールの速度は、指を動かす速度で調整します。

ピンチ

ピンチ ジェスチャを使用すると、PDF、画像、写真などを拡大または縮小できます。

ピンチは以下のように行います。

- タッチパッドで 2 本の指を近づけた状態にして、その 2 本の指の間隔を拡げてオブジェクトのサイズを拡大することで、ズームインできます。
- タッチパッドで 2 本の指を互いに離した状態にして、その 2 本の指の間隔を狭めてオブジェクトのサイズを縮小することで、ズームアウトできます。

回転

回転ジェスチャを使用すると、写真やページなどの項目を回転できます。回転を行うには、親指をタッチパッドに置いて固定し、その親指を中心にして人差し指で半円を描きます。

外付けマウスの接続

USB コネクタのどれかを使用して外付け USB マウスをコンピューターに接続できます。

キーボードの使用

操作キーの使用

操作キーとは、キーボード上部にある特定のキーに割り当てられ、カスタマイズされた動作を行うキーのことです。

操作キーを使用するには、そのキーを押したままにして、キーに割り当てられている機能を有効にします。

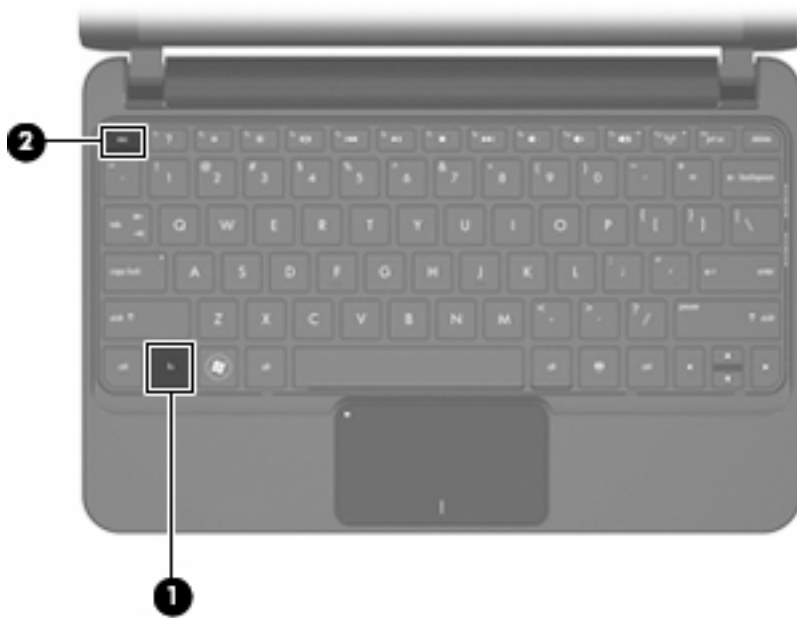
注記： 使用中のプログラムによっては、fn およびどれかの操作キーを一緒に押すと、そのプログラム内で専用のショートカット メニューが表示されます。

注記： 操作キーの機能は、出荷時に有効に設定されています。この機能をセットアップ ユーティリティで無効にすると、fn およびどれかの操作キーを一緒に押さなければ、キーに割り当てられている機能を有効にできなくなります。詳しくは、「セットアップ ユーティリティ」の章を参照してください。

アイコン	説明
?	[ヘルプとサポート]を表示します。[ヘルプとサポート]では、Windows オペレーティング システムとコンピューター、質問への回答とチュートリアル、およびコンピューターのアップデートに関する情報が提供されます

アイコン	説明
	また、自動的なトラブル解決の方法およびサポート サイトへのリンクも提供されます
	このキーを押し続けると、画面輝度が一定の割合で徐々に下がります
	このキーを押し続けると、画面輝度が一定の割合で徐々に上がります
	システムに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えます。たとえば、コンピューターに外付けモニターを接続している場合にこのキーを押すと、コンピューター本体のディスプレイ、外付けモニターのディスプレイ、コンピューター本体と外付けモニターの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります ほとんどの外付けモニターは、外付け VGA ビデオ方式を使用してコンピューターからビデオ情報を受け取ります。表示画面切り替えキーで、コンピューターからビデオ情報を受信している他のデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます
	オーディオ CD の前のトラック、または DVD や BD の前のチャプターを再生します
	オーディオ CD のトラック、または DVD や BD のチャプターを再生します
	オーディオ CD、DVD、または BD を停止します
	オーディオ CD の次のトラック、または DVD や BD の次のチャプターを再生します
	このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に下がります
	このキーを押し続けると、スピーカーの音量が一定の割合で徐々に上がります
	スピーカーの音を消したり元に戻したりします
	無線機能をオンまたはオフにします 注記：　このキーでは無線接続は確立されません。無線接続を確立するには、無線ネットワークもセットアップされている必要があります
prt sc	コンピューター画面のスナップショットまたは画像が取り込まれてクリップボードにコピーされます

ホットキーの使用

ホットキーは、fn キー（**1**）と esc キー（**2**）の組み合わせです。

機能	ホットキー	説明
システム情報を表示する	fn + esc	システムのハードウェア コンポーネントやシステム BIOS のバージョン番号に関する情報が表示されます

ホットキー コマンドをコンピューターのキーボードで使用するには、以下のどちらかの操作を行います。

- 短く fn キーを押してから、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押します。

  または

- fn キーを押しながら、ホットキー コマンドの 2 番目のキーを短く押し、両方のキーを同時に離します。

タッチ スクリーンの使用（一部のモデルのみ）

一部のモデルでは、タッチ スクリーン上で指を使用して特定のアクションを実行できます。

注記： ここに示す手順は、出荷時の設定に基づいています。認識されているクリックとフリックの設定を変更するには、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[ペンと入力タッチ]**の順に選択します。

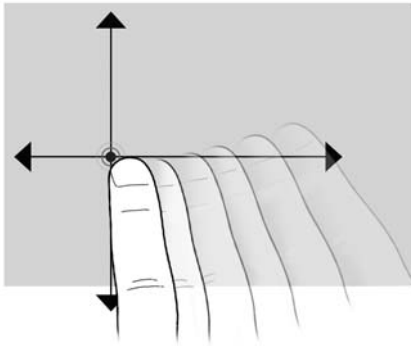
タップ（またはクリック）

タッチパッドまたは外付けマウスでクリックまたはダブルクリックする操作と同じように、画面上の項目をタップまたはダブルタップします。項目をタップして押し続けると、右のタッチパッド ボタンを押したときと同じようにコンテキスト メニューが表示されます。

注記： オペレーティング システムによって指が触れている領域のまわりに円が表示されるまで、タップした指を置いたままにする必要があります。円が表示された後、コンテキスト メニューが表示されます。

フリック

画面にタッチして上、下、左、または右方向に払いのけるように早く動かすと、画面を切り替えたりドキュメントをすばやくスクロールしたりできます。

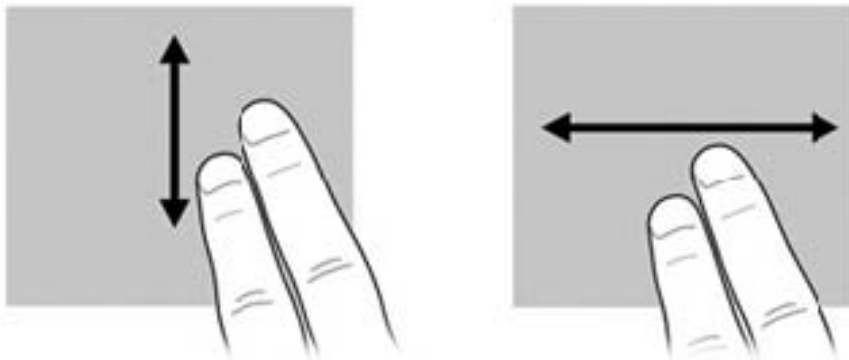
注記： フリックの操作を有効にするには、スクロールバーが表示され、アクティブなウィンドウに存在している必要があります。

ドラッグ

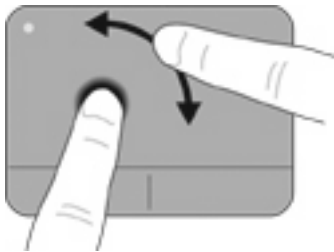
画面上の項目に指を押し当てて、その指を動かすと、その項目を新しい場所にドラッグできます。この動作でドキュメントをゆっくりスクロールすることもできます。

スクロール

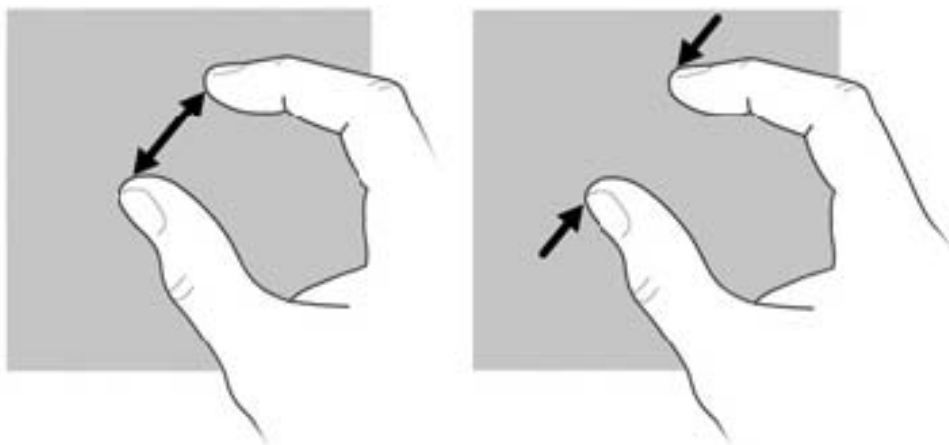
スクロールは、ページや画像を上下に移動するときに便利です。スクロールするには、2 本の指を画面に置き、画面上で上下左右の方向にドラッグします。

注記： スクロールの速度は、指を動かす速度で調整します。

回転

回転ジェスチャを使用すると、写真やページなどの項目を回転できます。回転させるには、画面に親指を固定して、親指の周囲に半円を描くように、人差し指を動かします。

ピンチ

ピンチ ジェスチャを使用すると、PDF、画像、写真などを拡大または縮小できます。

ピンチは以下のように行います。

- 画面上で 2 本の指を互いに離した状態にして、その 2 本の指の間隔を狭めてオブジェクトのサイズを縮小することで、ズームアウトできます。
- 画面上で 2 本の指を一緒の状態にして、その 2 本の指の間隔を拡げてオブジェクトのサイズを拡大することで、ズームインできます。

タッチ スクリーンの設定

▲ 視覚的情報の設定を行うには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[ペンと入力タッチ]**の順に選択します。これらの設定は、タッチ スクリーンとコンピューターに固有のものです。

▲ 右利きと左利きの設定を行うには、**[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[Tablet PC 設定]→[その他]**タブの順に選択します。これらの設定は、タッチ スクリーンとコンピューターに固有のものです。

▲ ポインティング デバイスのポインター速度、クリック速度、マウスの軌跡などの設定を変更するには、**[スタート]→[デバイスとプリンター]**の順に選択します。次に、お使いのコンピューターを表すデバイスを右クリックして、**[マウス設定]**を選択します。これらの設定は、システムのすべてのポインティング デバイスに適用されます。

クリックの設定を変更またはテストするには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[ペンとタッチ]→[ペンのオプション]**タブの順に選択します。
2. **[ペン操作]**の下で、操作を選択し、**[設定]**をクリックします。
3. 変更を行うか、設定をテストしてから**[OK]**をクリックします。

フリックの割り当てを変更または作成するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[ペンとタッチ]→[フリック]**タブの順に選択します。
2. **[ナビゲーション フリックと編集フリック]→[カスタマイズ]**の順にクリックします。
3. 画面の説明に沿って操作し、フリックの割り当てを変更または作成します。
4. **[OK]**をクリックします。

10 ドライブ

取り付けられているドライブの確認

コンピューターに取り付けられているドライブを表示するには、**[スタート]**→**[コンピューター]**の順に選択します。

ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピューター部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：** コンピューターやドライブの損傷、または情報の損失を防ぐため、以下の点に注意してください。

外付けハードドライブに接続したコンピューターをある場所から別の場所へ移動させるような場合は、事前にスリープを開始して画面表示が消えるまで待つか、外付けハードドライブを適切に取り外してください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピューターのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピューターの電源を切ります。コンピューターの電源が切れているのか、スリープ状態か、またはハイバネーション状態なのかわからない場合は、まずコンピューターの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

別売のオプティカル ドライブ内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピューターを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。外付けオプティカル ドライブは、ハブなどの他の外付けデバイスにある USB コネクタではなく、**コンピューター本体の** USB コネクタに接続する必要があります。

バッテリのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前にバッテリが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使用してチェックを行うので、ドライブには影響しません。

外付けドライブの使用

外付けのリムーバブル ドライブを使用すると、情報を保存したり、情報にアクセスしたりできる場所が増えます。

USB ドライブには、以下のような種類があります。

- 1.44 MB フロッピーディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール（アダプターが装備されているハードドライブ）
- DVD-ROM ドライブ
- DVD/CD-RW コンボ ドライブ

- DVD+RW/R および CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ

別売の外付けデバイスの使用

注記： 必要なソフトウェアやドライバー、および使用するデバイス本体のコネクタの種類について詳しくは、外付けデバイスに付属している説明書を参照してください。

外付けデバイスを接続するには、以下の操作を行います。

注意： 装置が損傷することを防ぐため、別電源が必要なデバイスを接続するときは、コンピューターの電源が切れていて、外部電源コードがコンピューターに接続されていないことを確認してください。

1. 外付けデバイスを接続します。
2. 別電源が必要なデバイスを接続した場合は、デバイスの電源コードを接地した外部電源のコンセントに差し込みます。
3. コンピューターの電源を入れます。

別電源が必要でない外付けデバイスを取り外すときは、コンピューターの電源を切り、コンピューター本体から取り外します。別電源が必要な外付けデバイスを取り外すときは、コンピューターの電源を切り、コンピューター本体から取り外した後、外付けデバイスの電源コードを抜きます。

11 メモリ モジュール

コンピューター裏面には、1 つのメモリ モジュール コンパートメントが装備されており、底面カバーで覆われています。コンピューターのメモリを増設するには、メモリ モジュール スロットに装着されているメモリ モジュールを交換します。

⚠ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、電源コードとすべてのバッテリを取り外してからメモリ モジュールを取り付けてください。

△ **注意：** 静電気（ESD）によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前にアースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

メモリ モジュールを追加または交換するには、以下の操作を行います。

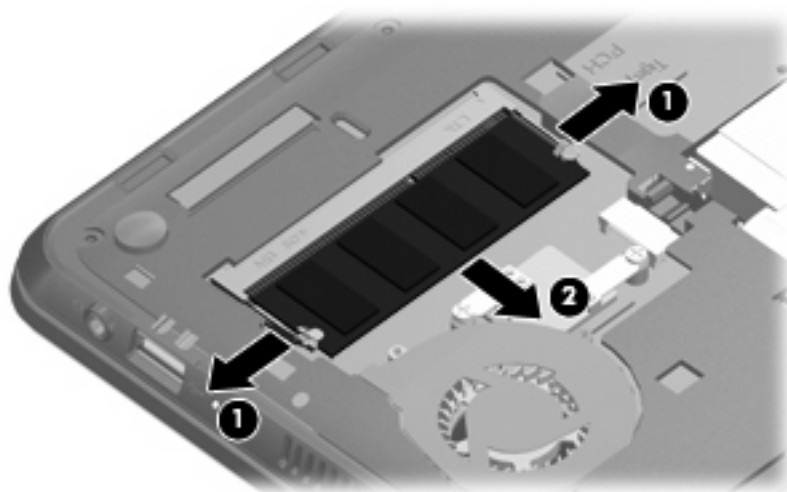
1. 必要なデータを保存します。
2. コンピューターをシャットダウンし、ディスプレイを閉じます。

   コンピューターの電源が切れているかハイバネーション状態なのかわからない場合は、まず電源スイッチをスライドさせてコンピューターの電源を入れます。次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。
3. コンピューターに接続されているすべての外付けデバイスを取り外します。
4. このガイドの「底面カバーの取り外し」の説明に沿って操作します。
5. 以下の要領で、既存のメモリ モジュールを取り外します。

   a. メモリ モジュールの両側にある留め具を左右に引っ張ります（**1**）。

      メモリ モジュールが少し上に出てきます。

      △ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分には触らないでください。

b. メモリ モジュールの左右の端の部分を持って、そのままゆっくりと斜め上に引き抜いて（**2**）取り外します。

取り外したメモリ モジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

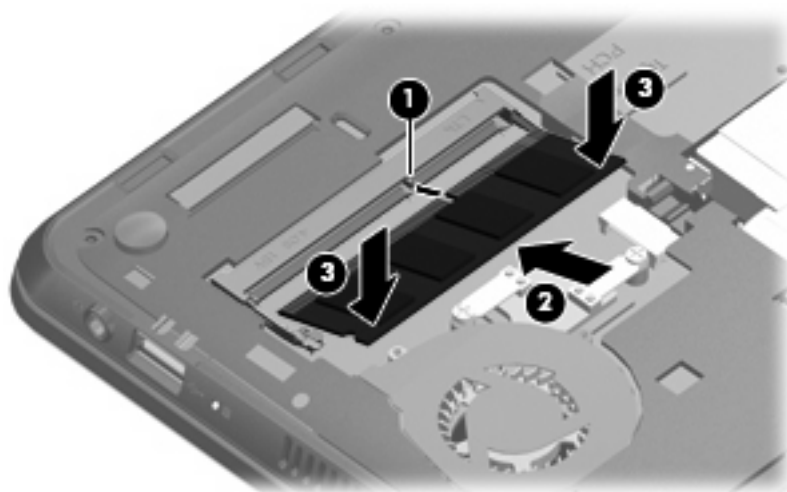
6. 以下の要領で、メモリ モジュールを取り付けます。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを扱うときは必ず左右の端を持ってください。メモリ モジュールの端子部分に触ったり、メモリ モジュールを折り曲げたりしないように注意してください。

a. メモリ モジュールの切り込み（**1**）とメモリ モジュール スロットのタブを合わせます。

b. しっかりと固定されるまでメモリ モジュールを 45°の角度でスロットに押し込み、所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを押し下げます（**2**）。

c. カチッと音がして留め具がメモリ モジュールを固定するまで、メモリ モジュールの左右の端をゆっくりと押し下げます（**3**）。

△ **注意：** メモリ モジュールの損傷を防ぐため、メモリ モジュールを折り曲げないでください。

7. このガイドの「底面カバーの取り付けなおし」の説明に沿って操作します。

8. コンピューターのカバーを上にして置き、外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。

9. コンピューターの電源を入れます。

12 ソフトウェアの更新

HP の Web サイトから、コンピューターに付属するソフトウェアの更新版を入手できます。

HP の Web サイトには、多くのソフトウェアおよび BIOS アップデートが **SoftPaq** という圧縮ファイル形式で提供されています。

一部のダウンロード パッケージには、このファイルのインストールやトラブルシューティングに関する情報が記載された Readme.txt ファイルが含まれます。

ソフトウェアを更新するには、このガイドで説明する作業を以下の順序で行います。

1. お使いのモデルのコンピューター、製品のカテゴリ、およびシリーズまたはファミリを確認します。コンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンを確認して、システム BIOS アップデートを準備します。

   コンピューターがネットワークに接続されている場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

   注記： コンピューター システムの BIOS は、システム ROM に格納されます。BIOS は、オペレーティング システムを初期化し、コンピューターとハードウェア デバイスとの通信方法を決定し、ハードウェア デバイス間で日付と時刻などのデータを転送します。

2. HP の Web サイト（http://www.hp.com/jp/）の[ドライバー＆ソフトウェア ダウンロード]から、お使いの製品の情報を表示します。
3. アップデートをインストールします。

BIOS の更新

BIOS を更新するには、まず現在使用している BIOS のバージョンを確認してから、新しい BIOS をダウンロードしてインストールします。

BIOS のバージョンの確認

利用可能な BIOS アップデートの中に、現在コンピューターにインストールされている BIOS よりも新しいバージョンの BIOS があるかどうかを調べるには、現在インストールされているシステム BIOS のバージョンを確認する必要があります。

BIOS バージョン情報（「ROM 日付」または「システム BIOS」とも呼ばれます）を表示するには、セットアップ ユーティリティを開きます。

BIOS 情報を表示するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターを起動または再起動してセットアップ ユーティリティを開き、画面の左下隅に[F10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。
2. セットアップ ユーティリティの起動時にシステム情報が表示されない場合は、矢印キーを使用して**[Main]**（メイン）メニューを選択します。

   [Main]メニューを選択すると、BIOS およびその他のシステムの情報が表示されます。
3. セットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**（終了）→**[Exit Discarding Changes]**（変更を保存しないで終了）の順に選択し、enter キーを押します。

BIOS アップデートのダウンロード

△ **注意：** コンピューターの損傷やインストールの失敗を防ぐため、BIOS アップデートのダウンロードおよびインストールを実行するときは必ず、AC アダプターを使用した信頼性の高い外部電源にコンピューターを接続してください。コンピューターがバッテリ電源で動作しているとき、または別売の電源に接続されているときは、BIOS アップデートをダウンロードまたはインストールしないでください。ダウンロードおよびインストール時は、以下の点に注意してください。

電源コンセントからコンピューターの電源コードを抜いて外部からの電源供給を遮断することはおやめください。

コンピューターをシャットダウンしたり、スリープやハイバネーションを開始したりしないでください。

コンピューター、ケーブル、またはコードの挿入、取り外し、接続、または切断を行わないでください。

BIOS アップデートをダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. お使いのコンピューター用のソフトウェアを提供している HP の Web サイトのページを表示します。

   [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択して最新ソフトウェアを提供するページへのリンクを選択します。

2. 画面の説明に沿ってお使いのコンピューターを指定し、ダウンロードする BIOS アップデートを表示します。

3. ダウンロードのページで、以下の操作を行います。

   a. お使いのコンピューターに現在インストールされている BIOS のバージョンよりも新しい BIOS を確認します。日付や名前、またはその他の、ファイルを識別するための情報をメモしておきます。後で、ハードドライブにダウンロードしたアップデートを探すときにこの情報が必要になる場合があります。

   b. 画面の説明に沿って操作し、選択したバージョンをハードドライブにダウンロードします。

      BIOS アップデートをダウンロードする場所へのパスのメモを取っておきます。このパスは、アップデートをインストールするときに必要です。

   注記： コンピューターをネットワークに接続している場合は、ソフトウェア アップデート（特にシステム BIOS アップデート）のインストールは、ネットワーク管理者に確認してから実行してください。

ダウンロードした BIOS によってインストール手順が異なります。ダウンロードが完了した後、画面に表示される説明に沿って操作します。説明が表示されない場合は、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コンピューター]**の順に選択して、Windows の[エクスプローラー]を起動します。

2. ハードドライブをダブルクリックします。通常は、[ローカル ディスク（C:)]を指定します。

3. BIOS ソフトウェアをダウンロードしたときのメモを参照するなどして、ハードドライブ上のアップデート ファイルが保存されているフォルダーを開きます。

4. 拡張子が.exe であるファイル（filename.exe など）をダブルクリックします。

   BIOS のインストールが開始されます。

5. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

注記： インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

プログラムおよびドライバーの更新

BIOS アップデート以外のソフトウェアをダウンロードしてインストールするには、以下の操作を行います。

1. お使いのコンピューター用のソフトウェアを提供している HP の Web サイトのページを表示します。

   [スタート]→[ヘルプとサポート]の順に選択して最新ソフトウェアを提供するページへのリンクを選択します。

2. 画面の説明に沿って操作し、アップデートするソフトウェアを見つけます。
3. ダウンロード エリアで、ダウンロードするソフトウェアを選択し、画面の説明に沿って操作します。

   注記： ソフトウェアをダウンロードする場所へのパスのメモを取っておきます。ソフトウェアをインストールするときに、このパスが必要です。

4. ダウンロードが完了したら、**[スタート]→[コンピューター]**の順に選択して、Windows の[エクスプローラー]を起動します。
5. ハードドライブをダブルクリックします。通常は、[ローカル ディスク（C:)]を指定します。
6. BIOS ソフトウェアをダウンロードしたときのメモを参照するなどして、ハードドライブ上のアップデート ファイルが保存されているフォルダーを開きます。
7. 拡張子が.exe であるファイル（filename.exe など）をダブルクリックします。

   インストールが開始されます。

8. 画面の説明に沿って操作し、インストールを完了します。

注記： インストールが成功したことを示すメッセージが画面に表示されたら、ダウンロードしたファイルをハードドライブから削除できます。

13 [HP QuickWeb]の設定変更

[HP QuickWeb]の有効化および無効化

Windows オペレーティング システム内で[HP QuickWeb]を無効または再び有効にするには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP QuickWeb]**の順に選択します。**[HP QuickWeb Installer]** フォルダーが表示されます。**[HP QuickWeb Configuration Tool]**（HP QuickWeb 構成ツール）をクリックします。
2. **[Enable QuickWeb]**（[HP QuickWeb]を有効にする）チェック ボックスにチェックを入れます。
3. **OK** をクリックします。

注記： [HP QuickWeb Configuration Tool]には、**[スタート]→[コントロール パネル]→[表示方法]**矢印の順にクリックしてアクセスすることもできます。**[大きいアイコン]**または**[小さいアイコン]**を選択して、[HP QuickWeb Configuration Tool]を探します。

14 セットアップ ユーティリティ

セットアップ ユーティリティの開始

セットアップ ユーティリティは ROM ベースのユーティリティで、情報の表示とシステムのカスタマイズを行います。Windows オペレーティング システムが動作しない場合にも使用できます。

ユーティリティはコンピューターに関する情報をレポートし、起動、セキュリティ、および他のオプションを設定します。

セットアップ ユーティリティを開始するには、以下の操作を行います。

▲ コンピューターを起動または再起動してセットアップ ユーティリティを開き、画面の左下隅に[F10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。

セットアップ ユーティリティの使用

セットアップ ユーティリティの言語の変更

以下の手順では、セットアップ ユーティリティの言語を変更する方法を説明します。セットアップ ユーティリティが実行されていない場合は、手順 1 から始めます。セットアップ ユーティリティが実行されている場合は、手順 2 から始めます。

1. コンピューターを起動または再起動してセットアップ ユーティリティを開き、画面の左下隅に[F10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。
2. 矢印キーを使用して**[System Configuration]**（システム コンフィギュレーション）→**[Language]**（言語）の順に選択し、enter キーを押します。
3. 矢印キーを使用して言語を選択し、enter キーを押します。
4. 選択した言語を確認するメッセージが表示されたら、enter キーを押します。
5. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**（終了）→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

変更はすぐに有効になります。

セットアップ ユーティリティでの移動および選択

セットアップ ユーティリティは Windows ベースではないため、タッチパッドに対応していません。移動および選択は、キーを押して行います。

- メニューまたはメニュー項目を選択するには、矢印キーを使用します。
- 一覧から項目を選択したり、有効/無効などのフィールドを切り替えたりするには、矢印キーを使用するか、f5 キーまたは f6 キーを使用します。
- 項目を選択するには、enter キーを押します。
- テキスト ボックスを閉じるか、またはメニュー表示に戻るには、esc キーを押します。
- セットアップ ユーティリティの起動中にその他の操作や選択項目の情報を表示するには、f1 キーを押します。

システム情報を表示する

以下の手順では、セットアップ ユーティリティでシステム情報を表示する方法を説明します。セットアップ ユーティリティが実行されていない場合は、手順 1 から始めます。セットアップ ユーティリティが実行されている場合は、手順 2 から始めます。

1. コンピューターを起動または再起動してセットアップ ユーティリティを開き、画面の左下隅に[F10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。
2. **[Main]**（メイン）メニューを選択します。システム時刻および日付などのシステム情報およびコンピューターの識別情報が表示されます。
3. 設定を変更しないでセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して、**[Exit]**（終了）→**[Exit Discarding Changes]**（変更を保存しないで終了）の順に選択し、enter キーを押します。

セットアップ ユーティリティでの初期設定の復元

以下の手順では、セットアップ ユーティリティの初期設定を復元する方法を説明します。セットアップ ユーティリティが実行されていない場合は、手順 1 から始めます。セットアップ ユーティリティが実行されている場合は、手順 2 から始めます。

1. コンピューターを起動または再起動してセットアップ ユーティリティを開き、画面の左下隅に[F10 = BIOS Setup Options]というメッセージが表示されている間に、f10 キーを押します。
2. 矢印キーを使用して**[Exit]**（終了）→**[Load Setup Defaults]**（初期設定値をロードする）の順に選択し、enter キーを押します。
3. セットアップの確認が表示されたら、enter キーを押します。
4. 変更を保存してセットアップ ユーティリティを終了するには、矢印キーを使用して**[Exit]**→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

セットアップ ユーティリティの初期設定値は、コンピューターを再起動したときに有効になります。

注記：　出荷時設定に戻しても、パスワード、セキュリティ、および言語の設定は変更されません。

セットアップ ユーティリティの終了

変更を保存または保存しないでセットアップ ユーティリティを終了できます。

- 現在のセッションからの変更内容を保存して、セットアップ ユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。

  セットアップ ユーティリティのメニューが表示されていない場合は、esc キーを押して、メニュー画面に戻ります。矢印キーを使用して、**[Exit]**（終了）→**[Exit Saving Changes]**（変更を保存して終了）の順に選択し、enter キーを押します。

- 現在のセッションからの変更内容を保存しないで、セットアップ ユーティリティを終了するには、以下の操作を行います。

  セットアップ ユーティリティのメニューが表示されていない場合は、esc キーを押して、メニュー画面に戻ります。矢印キーを使用して、**[Exit]**→**[Exit Discarding Changes]**（変更を保存しないで終了）の順に選択し、enter キーを押します。

どちらかを選択すると、コンピューターが再起動され Windows が起動します。

セットアップ ユーティリティのメニュー

このセクションのメニューの表に、セットアップ ユーティリティのオプションの概要を示します。

注記： この章に記載されているセットアップ ユーティリティの一部のメニュー項目は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

[Main]（メイン）メニュー

選択	設定内容
System information（システム情報）	● システム時刻および日付を表示したり変更したりします ● コンピューターの識別情報を表示します ● プロセッサ、メモリ サイズ、およびシステム BIOS の仕様情報を表示します

[Security]（セキュリティ）メニュー

選択	設定内容
Administrator password（管理者パスワード）	管理者パスワードを入力、変更、または削除します
Power-On Password（電源投入時パスワード）	電源投入時パスワードを入力、変更、または削除します

[System Configuration]（システム コンフィギュレーション）メニュー

選択	設定内容
Language Support（対応言語）	セットアップ ユーティリティの言語を変更します

選択	設定内容
Processor C4 State（プロセッサ C4 ステート）	プロセッサ C4 のスリープ状態を有効/無効にします
Boot Options（ブート オプション）	以下のブート オプションを設定します ● f10 and f12 Delay (sec.)（f10 および f12 の遅延（秒））：セットアップ ユーティリティの f10 および f12 機能の遅延（キー入力を待つ時間）を、5 秒間隔（0、5、10、15、20）で設定します ● HP QuickWeb：セットアップ ユーティリティ起動中の[HP QuickWeb]ブート メニューを有効/無効にします ● Internal Network Adapter boot（内蔵ネットワーク アダプター ブート）：内蔵ネットワーク アダプターからのブートを有効/無効にします ● Boot Device Priority（ブート デバイス優先順位）：以下のブート デバイス優先順位を設定します ◦ 内蔵ハードドライブ（一部のモデルのみ） ◦ USB フロッピー ◦ USB CD/DVD ROM ドライブ ◦ USB フラッシュ ドライブ ◦ USB ハードドライブ ◦ USB カード リーダー ◦ ネットワーク アダプター 注記： ブート順序のメニューには、システムに取り付けられているデバイスのみが表示されます

[Diagnostics]（診断）メニュー

選択	設定内容
Hard Disk Self Test（ハードドライブ セルフテスト）（一部のモデルのみ）	ハードドライブの総合的な自己診断を実行します
Memory Test（メモリ テスト）	システム メモリの診断テストを実行します

索引

か

き

く

け

こ

し

す

せ

そ

た

つ

て

と